

1 議 事 日 程

[平成29年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成29年3月13日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第32号 平成29年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第33号 平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第34号 平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第35号 平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第36号 平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第37号 平成29年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第7 議案第38号 平成29年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	藤 井 雅 之 議員
委員	堺 剛 議員	委員	船 越 隆 之 議員
”	木 村 彰 人 議員	”	森 田 正 嗣 議員
”	有 吉 重 幸 議員	”	入 江 寿 議員
”	笠 利 毅 議員	”	徳 永 洋 介 議員
”	宮 原 伸 一 議員	”	上 疆 議員
”	神 武 綾 議員	”	小 畠 真由美 議員
”	陶 山 良 尚 議員	”	長谷川 公 成 議員
”	村 山 弘 行 議員	”	橋 本 健 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（40名）

市長	芦 刈 茂	副市長	富 田 讓
教育長	木 村 甚 治	総務部長	石 田 宏 二
地域健康部長	友 田 浩	総務部理事 兼公共施設整備課長	原 口 信 行
建設経済部長	井 浦 真須己	市民福祉部長	濱 本 泰 裕
観光推進担当部長 兼観光経済課長 併農業委員会事務局長	藤 田 彰	教育部長	緒 方 扶 美
上下水道部長	今 村 巧 児	教育部理事	江 口 尋 信
総務課長 併選挙管理委員会書記長	田 中 縁	経営企画課長	山 浦 剛 志
文書情報課長	百 田 繁 俊	管財課長	寺 崎 嘉 典
防災安全課長	齋 藤 実貴男	地域づくり課長	藤 井 泰 人

人権政策課長兼 人権センター所長 文化学習課長併 中央公民館担当課長併 市民図書館担当課長	福嶋 浩	元気づくり課長	伊藤 剛
生活環境課長	木村 幸代志	スポーツ課長	大塚 源之進
税務課長	川谷 豊	市民課長	行武 佐江
福祉課長	吉開 恭一	納税課長	千倉 憲司
保育児童課長	友添 浩一	福祉課 障がい福祉担当課長	菊武 良一
国保年金課長	中島 康秀	介護保険課長	平田 良富
都市計画課長	高原 清	建設課長	山口 辰男
学校教育課長	木村 昌春	社会教育課長	中山 和彦
上下水道課長	森木 清二	文化財課長	城戸 康利
監査委員事務局長	古賀 良平	会計管理者 兼会計課長	小島 俊治
	渡辺 美知子	子育て支援 センター所長	東 珠実

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会議務局長	阿部 宏亮	議事課長	花田 善祐
書記	山浦 百合子	書記	高原 真理子
書記	力丸 克弥		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、こんにちは。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第32号 平成29年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第32号「平成29年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

事項別明細書56ページの歳出、1款議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に進みます。58ページ、2款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、ページを進みます。61ページまでについて質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。62ページ、2目文書費、3目法制費、ずっと目が続きまして、そして65ページ、6目会計管理費までについて質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 6目の会計管理費についてお伺いいたします。

審査資料で5ページで出していただいておりますけれども、役務費の公金取扱手数料について若干お伺いしたいことがございまして、審査手数料でそれぞれ口座振替とコンビニ収納1件当たりの手数料を出していただいておりますが、コンビニ収納の拡大といいますか、そういったことに伴って、この手数料が収納される金額から手数料が引かれるという部分では、コンビニ収納が増えていくことによって歳入の部分に影響が出てくるんじゃないかなということも懸念したりしますが、そういった点の終始点といいますか、そういった部分の分析等は、このコンビニ収納が始まって、手数料上されたことはございますか。

○委員長（門田直樹委員） 会計管理者兼会計課長。

○会計管理者兼会計課長（小島俊治） 今のところ、まだ分析等はしたことはございません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○副委員長（藤井雅之委員） 結構です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。66ページ、7目財産管理費、69ページまでですが、7目について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 67ページ、財産管理費の備品購入費、公用車の購入、普通自動車が1台と軽自動車の予算が上がっていますが、これはまず買いかえなのかということが1点と。

普通自動車が280万円というのは金額としては大きなほうかなというふうに見えたりもするんですけども、この点についてご説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） 普通自動車は、トヨタハイエース10人乗りでございます。19年経過しております。故障も目立ちますので、事故があったら危ないということで287万円上げさせていただきます。

軽自動車は買いかえです、1台です。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 確認ですが、以前、管財課管理の公用車が34台ということをお聞きしたこともございましたけれども、この買いかえによりまして、その管財課管理の公用車の台数というのは変化ありましたか、プラス1台とかになりますか、34台のままでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） 買いかえですので、変化ありません。

○副委員長（藤井雅之委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 67ページ、330の公共施設整備関係費です。積立金の公共施設整備基金積立金なんですけれども、これ公共施設総合管理計画によりはじき出された数字で9,396万7,000円が上がっているのでしょうか。平成28年に比べてかなり額が上がっているようなんですけれども、この根拠を教えてくださいなんですが。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 公共施設等総合管理計画はまだ策定中でございます。本年度中に策定するというような形でっておりますので、この基金積立金につきまし

てはそれに準じているものではございません。

1つ従前より多いというご指摘がございますが、これが旧五条保育所の用地の売り払い費でございます、それを、関連ございますので、47ページのほうに、中段、土地売り払い代金として市有地売り払い代金5,400万円がございますが、これが旧五条保育所の用地の売り払い代でございます。これが入っているということでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（木村彰人委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 進みます。それでは、68ページ、8目契約管理費、71ページまでですが、8目について質疑はありますか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 17節の公有財産購入費で複合施設用地購入費、これは場所はどこですかね。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） これは、国土館大学の購入費です、今年が最後になります、7,500万円、分割でお支払いしておりますので。

○委員（橋本 健委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちょっと戻りまして、ページは同じなんですけれども、992の……。

○委員長（門田直樹委員） 戻るときは一応委員長に対してよろしいですかと聞いてください。

○委員（木村彰人委員） よろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） 許可します。

○委員（木村彰人委員） 992細目の庁舎維持管理費のところでの光熱水費、これ審査資料のほうも要求しておりまして、審査資料のページで言いますと6ページになると思いますけれども、光熱水費が恐らく自由化電力を使ったところで安くなっているんだと思うんですけれども、こちらのほうの説明をいただきたいんですけれども。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） 予算審査資料6ページになります。

先ほど木村委員さんがおっしゃられました992の庁舎維持管理の光熱水費というのは庁舎だけの光熱水費ですけれども、ほかの公共施設、例えば学校とか、中央公民館とか、そういう光熱費はその部署部署で管理していただいておりますので、予算もその部署の光熱水費で上げております。

ただ、新電力との契約については、そこそこでするのはちょっと難しいということもありましたので、管財課のほう窓口となって一括して入札をさせていただきました。庁舎のほう

先にしまして、昨年の6月から新電力を取り入れておりましたけれども、順調に削減できましたので、もうすぐその他の公共施設に取り入れまして、昨年の10月、入札をいたしまして、ここに示しております環境美化センター、文化ふれあい館、中央公民館、それと市内小・中学校11校、それぞれに入札を行いまして、削減率がここに書いてあるとおりです。直近1年間と同じ使用量をこの先1年間使った場合という条件の中で、平均28.4%の削減率と、合計しますと1,870万円の削減が見込めるということで、今年の2月1日から来年の1月31日までの1年間契約しております。ちょっとまだ2月分の状況というのが出ておりませんので、あくまでも見込みということで載せさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 庁舎維持管理費に戻ってもいいですか。

○委員長（門田直樹委員） 何ページ。

○委員（小島真由美委員） 済みません、69ページ。

○委員長（門田直樹委員） どうぞ。

○委員（小島真由美委員） 992の庁舎維持管理費の中に入っているかどうかかわからないんですが、庁舎の前の回廊の下のタイルが大分浮き上がったとかかしてきているんですけども、これは保証の中で工事ができないのかどうかとかというところをちょっと、これからあそこを補修されるのかどうかも含めてお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） 回廊の下の一枚一枚のタイルですかね。あれは回廊の保証としてはもう無理だと思いますので、通常の維持管理で対応していきたいと思います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ちょっと私から、前から聞こうと思っていたんですが、柱がありますね、回廊、上が幅が合わんで、小さな木ぎれを挟んでるけれども、あれは何か設計ミスなのかな、それとも最初からああいうデザインなのか、わかります。今さらの話ではあるけれども。

総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） どうしても小さな取り合いというので、はぎれ等使う部分は出てくるかと思えます。相当の熟練された施工者で宮大工みたいな方であったらば和風建築できちんと合わせることもできるんですけども、あくまでも主要な構造は鉄骨でございますので、それに木をかぶせているというようなことで、やむを得ないかなというふうに判断しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） それ以上聞きません。

ほかにございますか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今のに通じて、回廊の分で柱の木造の丸い柱の部分の下にコーキングの補修用の発泡スチロールがぺろっと何カ所も出とるんですよ。あれってちょっとみつともないのかなと思って、いつ気づいてから撤去されるかなと思うたけれども、いまだにされてないみたいやから。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） 済みません、気づいていませんでした。点検して改修させていただきます。済みません。

○委員長（門田直樹委員） 有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） ちょっと戻りますが、992の14節、テレビ受信料って書いてありますけれども、19万6,000円と高いっちゃあ高いような気がするんですけども、これはNHKなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（寺崎嘉典） NHKの地上3台分、それと衛星の8台分、それと松川にも1台分、それとケーブルテレビが地域特性の分がありますので、5台分契約させていただいております。以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、70、71ページで、9目財政調整基金費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、10目人事管理費、73ページまでですが、これについて質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 71ページの990の職員採用試験の関係ですけれども、一番下にあります19の関係ですが、職員採用試験が負担金でされておりますけれども、平成29年度に職員採用人数は何名ぐらいと考えておられるのか、お伺いします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 採用につきましては、原則退職者の補充並びに業務量の増等を見込まして、今後検討してまいります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） そのうち、保育士さんがどれくらい考えてあるのか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 保育士につきましては、今のところ、予定ではございますが、複数名ということで検討しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連してなんですけれども、大野城、春日あたりは採用方法を変えているんですが、最初に面接をすとか。本市につきましてはそういった形で従前どおりしばらくはいくとか、何か考えてあるとかということはありませんか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 昨年度、春日市さんが全員面接ということで、面接と民間の就職で使いますテスト等の併用という形でされました。筑紫地区の人事担当といたしましても、その成果というか結果を少し見させていただきたいなと思っています。来年度は今年度と同じような採用試験の方法でいく予定にしております。今後、また筑紫地区の様子を見ながら検討させていただきます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 71ページ、細目330の人材育成費なんですけれども、しなやか研修旅費のほうが平成28年度比で約2倍になって100万円となつとるんですけれども、こちら辺にかなり力が入っていると思うんですけれども、この内容をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） しなやか研修につきましては、通常の旅費で対応できないような県外ですとか、全国研修、それから先進地の視察など、職員が企画していくものですとか、全国的な規模の研修で旅費を伴うものをこの中でさせていただいております。

例えば、平成27年度が件数13件でしたけれども、平成28年度はまだ3月を残しておりますが、21件しなやか研修で使わせていただいております。職員の資質向上ということで、市長の方針でもありますので、研修費については予算が増えているということでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今のしなやか研修の3行下ですが、人事評価制度支援業務委託料というのが、これも倍ぐらいになっていると思うんですけれども、内容とか何かしら変化があったのか、説明をいただければと思います。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 今年度、平成28年度から人事評価制度を導入しております。来年度につきましては、2年目ということになりますので、制度の定着、それから理解度を深めていくためにということで評価者の研修と被評価者、職員側の評価を受ける側の研修等の回数を少し増やしておりますので、その分でちょっと増額になっております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、進みます。2款総務費、2項企画費、1目企画総務費、ページがずっと行きまして、77ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 75ページの331のまちぐるみ整備班関係費とありますけれども、これは初めて聞くあれですけれども、その内容とか、職員数について教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） まちぐるみ整備班関係費でございますが、今現在、まちぐるみ整備班、実は内部で組織しておりまして、文化財課、観光経済課、環境課、防災安全課、それぞれで雇っております嘱託職員さん1名ずついらっやって合計4名なんです、その4名の方で編成をしております。

業務の内容といたしましてどういうものがあるかといいますと、それぞれ各課で1人ずつですとなかなかできない作業等がございますので、4名が1つのグループになりまして、主に文化財課であれば史跡地の木の伐採、観光経済課であれば箱わなの維持管理、環境課であれば雑草等の駆除処理とか、あるいは犬のふんの問題とか、さまざまな環境問題、それと防災安全課であれば、こちらのほうも災害関係、いろいろな問題がありますので、それを例えば市民の方から問い合わせがあったときにできるだけ速やかに対応すると、あとこれ以外にも建設課の関係で放置自転車等の撤去、そういったものについてもこちらのほうで対応をしております。

今申し上げました4課でそれぞれで予算を計上しまして、1名ずつでしてございましたけれども、来年度から経営企画課のほうで一旦集約をしまして、採用人数は2人で考えております。残りの人数につきましては、再任用職員さんを入れまして、再任用職員さんと一緒に動いていただくということで考えておるところでございます。こちらの予算については2人分ということで考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（陶山良尚委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 済みません、私から、320のICT推進費について、これ資料要求もしとって出とるんですが、7ページ、8ページですけれども、細かくここではもう聞けんと思うけれども、簡単に基幹系はいわゆるとめない、かえない、ミスらないというのが大前提とい

うことはわかるんですが、これ基幹系システムができてからどれぐらいの年月がたっているのか、わかります。

文書情報課長。

○文書情報課長（百田繁俊） 基幹系システムにつきましては、以前は庁舎内にサーバーを設置します方式で対応して、サーバーの更新を定期的に行うというような形ではございましたんですが、今回、熊本地震等の災害などを教訓に、より安全性を高めるという意味でクラウドサービスを利用した形で、外部のデータセンターに基幹系システムの環境を構築いたしまして、通信回線を利用して、従来どおりのサービスを継続するという方式に変更いたしておるところでございます。

○委員長（門田直樹委員） いつから。

○文書情報課長（百田繁俊） 平成27年度、昨年度から行っておりまして、債務負担でこの資料要求の基幹系システムの委託料の3行目でございます基幹システムサーバー機器更新対応業務、ここを2カ年払いで支払っておるという状況でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） それは何か今初めて聞いたような話で、わかりました、クラウドをもう使っているということで、いろいろな自治体でも基幹系をもうそろそろ見直そうということをやっているところも結構出てきているみたいなんですよ。うちなんかも、聞いたら何かまだCOBOLを使っているとかという、本当かどうか知らんけれども、かなり古いシステムだということも聞いておったので、ここではもうそこまでですね、一般質問でまたお願いしますので、よろしくをお願いします。

ほかにございませんか。

陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 77ページのふるさと納税関連業務委託料でございますけれども、これ商品等々については、商工会とか農協さんと連携はされていると思うんですけども、今後も商品数を増やしていくというお考えはあるのかということと、これ業務委託ということですけども、さとふるさんとか幾つかありますよね、これは市単独ではできないんですか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） まず、商品数につきましてでございます。商品数につきましては、今現在も商工会さんなどを通して声をかけていただいて、何か商工業者さんで自慢できるものじゃないですけども、ありましたらもう遠慮なく出してくださいということでお話しております。

また、手を挙げてらっしゃらない業者さん、私ども一般の消費者から見て、こういう業者さんも挙げてほしいなというところについては、市のほうから逆に営業に行きまして、ぜひ返礼品として出してもらえないかということでお話等はさせていただいております。

それと、今後の進め方ですかね。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 単独で、例えば市のほうだけでできないのかということですね。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 今、委託料につきましては、さとふるさんに実際にお支払いしている委託料は、契約の中で寄附金の12%ということでお支払いをしております。市のほうでこれを単独でやるとなるとかなりの膨大な事務的経費がございます。あと、お送りした商品に対してのクレーム対応等も基本的にさとふるさんのほうでやっていただいておりますので、非常に市としては助かっているという言い方はあれなんですけれども、コストが逆に市のほうがやるとかかってくるんじゃないかというところがございます、こういった状況となっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） そしたら、ふるさと納税を通じて商品化していきますので、それでいずれば太宰府のブランド化をしていくというような、そういう流れはないのか、その辺お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 太宰府としてのブランド化といいますのは、これはなかなか行政主導でできるものではございません。むしろ民の商工業者さんの中で太宰府という名前にふさわしい商品をやはり考えていただくというのが基本ではなかろうかと私どもは考えております。ある意味そういう機会をこのふるさと納税の返礼品制度でご提起をしているということでございますので、商工会さんのほうにもお話はしておりますけれども、商工業者さんの皆様には頑張ってくださいということでお願いをしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ふるさと納税は業務委託料が2,600万円上がっていますけれども、来年度1年間でこちらにふるさと納税を納めていただく額、ここまできちんと出すのは難しいと思いますけれども、大体幾らぐらい見込みをされています。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 一応私どもの見込みといいますか、ある意味目標でもございます、4,000万円ということで本年度計上させていただいておりますので、そこを一つの目標に頑張っていきたいといいますか、返礼品ラインナップを充実させていただければというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（長谷川公成委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連しまして、審査資料の請求もしているんですが、8ページ、この説明をいただければ、ふるさと納税の収支になると思うんですけども、よろしく願います。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） こちらにつきましては、収支ということで計上させていただいております。寄附金額が4,000万円と、それに対しまして業務委託料2,600万円、そして事務的経費と書いておりますのが、これはご寄附をいただいた方に対しまして証明書を発行する必要があります、減税措置を受けるための、その分の郵便代等々でございます。そういったものがこれだけかかってくるということでございます。

そして、出のほうになります。控除額が2,000万円ということで一番下に書いておりますが、こちらにつきましては平成27年度ベースの数字でございます。平成28年度の控除額につきましては、平成27年中の寄附ということで、来年度、平成29年度の控除額につきましては、平成28年中の寄附額で変わってまいります。平成28年中の寄附額といたしますのは、今まさに確定申告の時期ですので、数字がちょっとつかめませんので、あくまでもここに計上しておりますのは平成27年、前の年の決算額をベースに数字を上げさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。それでは、76ページの2目、公文書館費、79ページまでですが、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。それでは、78ページ、79ページ、3目交流費について質疑はありませんか。

有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 国際交流費関係の07賃金ですけれども、国際交流員ということで276万5,000円というふうになっておりますけれども、こちらは人数等わかれば教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 現在、総務課に所属しております国際交流員1名でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 国際交流関係費でございますけれども、今年から課になるということでございますけれども、予算的には昨年とほぼ変わっていないんですけども、何か新規事業とかそういうのは全然考えていないのか、その辺お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） このちょうど交流費の中にあります分につきましては、昨年とほぼ同様の予算でございます。

あと、今度国際交流課のほうに大学関係のキャンパスネットワークですかね、そういう業務も入ってきますので、そういう業務との連携を考えていければというふうには思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） それと、例えば中津市とかと友好都市を結んでますけれども、議会ではいろいろ交流していますけれども、なかなか民間自体、いろいろな団体同士とか、民間同士の交流が進んでないのかなと思うところがあるんですね、その辺を進めていただいて、そこまですれば市民までおりにくる可能性もありますんで、いずれは市民と市民の交流も含めて、できるような形で進めていただきたいと思いますし思っておりますけれども、課になった以上、そういう形でまた積極的に進めていただければと思っております。回答いただければ、何かあれば。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 今年度につきましては、社会教育関係の市民団体さんが中津市からお見えになって、こちらの団体さんと意見交流とか、そういうこともできております。職員の野球部が行って試合をしたとかそういうこともあります。市民団体さんですとか、スポーツ交流ですとか、そういうところで何か働きかけができればなというふうには思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 友好都市関係の301ですけれども、13節友好都市宣伝委託料となっておりますけれども、これはどのような内容でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） この委託料につきましては、友好都市の中の奈良市さんですけれども、奈良市が友好都市を結んでいる市を集めて、友好都市物産フェアというのをされます。そのときに、梅ヶ枝餅の実演販売を向こうのお客様からのご希望も多いということをお願いをしますので、その行っていただく委託料ということになっております。

○委員長（門田直樹委員） 有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） ということは、宣伝というかそういったいわゆる梅ヶ枝餅屋さんが現場に行って焼くという経費ということですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 実演販売に行っていたため交通費ですと

か、日当ですとか、そういうところです。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 友好都市関係の11番印刷製本費なんですけれども、先日もらったのに中津市と多賀城市の「るるぶ」ですかね、ああいうのというのは奈良市のもあるんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） ああいう地域限定の「るるぶ」といいますのは、そこを取り上げて別冊でつくるような感じなんですけれども、奈良市というのは観光ガイドが相当たくさんございますので、別にそれをつくるとなると多分普通の観光ガイドのような分厚いものになってしまうと思うので、多賀城市さん、中津市さんは多分つくってらっしゃる旅行代理店さん、そちらからの働きかけによる作成だというふうに聞いております。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 太宰府市もそういった友好都市に「るるぶ」等は置かれてはいるんですかね、そういった観光案内。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 中津市、多賀城市からいただいた分は総務課のカウンターですとか、情報センターですとか、そういうところにも置かさせていただいております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 301友好都市関係費の特別旅費の内訳をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 特別旅費につきましては、それぞれの友好都市から行事のご案内があったときに、例えば市長が行かれるとか、職員のほうで友好都市の先ほどの物産フェアですとか、そういうところに行くときの旅費ということで計上させていただいております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 国際交流の関係、300の11節需用費ですが、この中で印刷製本費が新しく24万円と出ておりますけれども、これは何を企画されているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 在住外国人の生活ガイドブックというのを何言

語かで、中国語とか韓国語とかでつくっておりますけれども、最近、市内の大学さんでベトナムの留学生さんが少し増えてきているということで、平成29年度はベトナム語のガイドをつくる予定で計上させていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、78ページ下のほう、4目男女共同参画推進費、81ページまでですが、質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 79ページの細目120男女共同参画推進費の中の講師謝礼なんですけれども、平成28年度比で約半減しているんですけれども、これはもう講演等が半分になるといふことなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） 講師謝礼につきましては、市民フォーラムと企業セミナーとか、そういうものに対する講師謝礼でございますけれども、去年と比べて減っているのは、10周年記念とかそういう分で記念事業等を行った分が今回はもう普通になったというふうな形になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 13節委託料の中の女性に対する暴力相談業務委託料、それからDV被害者等緊急一時保護委託料というところなんですけど、これ県もされていると思うんですが、太宰府市の中ではだんだん増えてきている状況なのか、件数等教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） 女性に対する暴力相談につきましては、NPO団体のアジア女性センターのほうに委託しております、筑紫女性ホットラインということで、太宰府市につきましては平成27年度が26件の電話相談件数があります。増えてきているかということについては、傾向性はありませんが、大体そのような形で推移しております。

それと、DV被害者等緊急一時保護につきましては、委員おっしゃるとおり、県のほうでもシェルターをやっておりますけれども、シェルターに入るための条件というのがございまして、例えば5時までに県のほうと連絡がついて、その条件が整わなければなかなかできなかったりしますので、夜間急にあった場合は、これはNPOのほうが実施している民間のシェルターでございますので、その分幾分入りやすくなっているかということで契約はしております。

れども、まだ実績はございません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、80ページの5目地域づくり推進費、83ページまでですが、質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） コミュニティバス運営費のコミュニティバス運行補助金に関しましてお伺いしますが、審査資料も別のところで市長の交際費に関連して出していただきまして、追加資料の2ページと3ページですね。

まず、2ページのところで、平成27年5月にまほろば号事故に伴うお見舞金、それと3ページのところ、平成27年12月に同じくまほろば号事故に伴うお見舞金というのが市長の交際費から支出されておりますけれども、本来こういったものはバスの運行委託費の補助金のところに含まれて、運行委託者のほうに対応されるような性質のものかなと思いますけれども、こういった形で決算でお聞きするような案件かもしれませんけれども、なぜこういった形になっているのかということと。

これ資料が出ているのは平成27年度の実績でありまして、平成28年度についてはまだ決算等も確定しておりませんが、平成28年度はどういうふうになっているのか、お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） 今ご質問ありました市長交際費の関係ですけれども、こちらにつきましては、現在まで、まほろば号の関係で事故が発生したときに、その事故の内容のいかんにかかわらず、市のほうからお見舞金をもって、そして西鉄と一緒に対応していたということとあります。その際に、緊急に支出する必要があるということもありまして、市長交際費というところで対応させていただいたということで、平成27年度につきましては先ほどご指摘ありましたように2件の支出がっております。平成28年度につきましては、こちらにつきましては発生しておりません。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 今の説明でしたら、市も出すんだったら、そういったものはきちんと市長の交際費で出されるという部分が若干違和感があるんですけども、そういった事故対応の部分をきちんと予算化しておかれればいいのではないかなと思うんですけども、市長の交際費で出すということは、市長が必要と認めたものというあの一部分のところを適用されて出されていると思うんですけども、そこら辺は予算化されていくお考えはないですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） 今の問題につきましては、今年度の監査のほうでも藤井副委員長のほうからご指摘がありまして、この内容につきましてはの対応を考えておるところです。西

鉄、また近隣の同じようなコミュニティバスを対応しているところとの取り扱いを調べましたら、これにつきましては運行事業者がやっておる事業になりますので、第一義的にはもう西鉄が対応するというので今後していこうというふうになっております。

また、事故の内容につきましては、当然こういったお見舞いとかということも考える必要はあろうかと思うんですが、またそのときにつきましては、性質的に予算化するというのではなくて、その事案が発生したとき、必要になったときに、例えば予備費流用とかというふうな形で対応をその時点で考えようということなので今考えております。ということで、平成29年度につきましても予算化はしておりません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ちょっと関連するけん、藤井副委員長の言われる全くとおりともし、引っ張り出しやすいから市長交際費というのは何かおかしいと思う。事務組合なんかは別途たしか予算化していたような気がするが、それは今後も検討されるということをお願いをしたい。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 81ページ、240のコミュニティバス運営費の13節委託料なんですが、バス案内システム保守委託料、これ前年度よりも200万円増額になっていると思うんですが、多分、その内容と増額になった理由をお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） ただいまご質問にありました委託料、バス案内システム保守委託料につきましては、今現在、サーバーをハウジング型と呼ぶんでしょうか、自前で持っているわけなんですけれども、こちらのハウジング型になりますと定期的な更新が必要になるということで、これ業者のほうとも協議をしまして、この内容につきましてデータセンターのサーバーを利用するという形に移行しようということで、それに対する費用ということでこの費用、約200万円になりますが、その分の増額が発生したということで、これを採用することで今後の定期的な更新というのが発生しないということで、これから先の経済的なところを考えたときにかなり有利になるということで判断をしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） わかりました。

それと、15節の工事請負費でバス停留所設置工事というのは、これは新たに申請することですけれども、場所はどこなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） これは実はバス停留所が増えるというわけではありませんで、上下水道事業センターのバス停をつくりました際に、業者のほうが持っていましたバス停の部品、それを一時的にお借りしてバス停を設置しているということをやっておりました。これに

つきましては、当然返却をいたしまして、そこにそれにかわるものが設置する必要がございますので、今年度、平成29年度につきましてそちらの対応をしようということで予算化をさせていただきます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

村山委員。

○委員（村山弘行委員） 今の関連ですけれども、バス停に、場所にもよりましようけれども、ベンチがあるところとないところがあるような気がして、そのベンチも市のじゃなくて、民間から寄附してもらったりとかというのがあるような気がして、私何ぼか要請があつて企業にお願いしに行ったことがあるんですが、それはもう少し置けないところは、余裕がないところは無理かもしれんけれども、置けるようなところには全部置いていこうとかという方向性と、もう一つは企業に頼らず、だめなときには役所のほうで例えばベンチをつくるだとか、もっと言うなら、ベンチに会社の広告を載せて広告料を取るとか、その辺は考えてないですかね。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） 今村山委員のほうからご指摘がありましたように、バス停につきましては、業者さんのほうで広告業者とかで設置しているところ、また市のほうで設置しているところ、いろいろあるんですけれども、今現在、市のほうで対応しているのは、今まで設置していたところのベンチが、例えば老朽化した、もしくはささくれだつて座るのに危険だというようなことが発生したときに、その旨の現地を確認して対応させていただいているということが現状であります。

今後、こちらのバス停のベンチにつきまして、対応をどうしていこうかというところであるんですけれども、西鉄のバスについても、やはり設置するといろいろな管理上の問題があるというようなことで、設置というのはなかなか難しいというようなことも聞いております。市のほうとしましても、コミュニティバスの性質上、利用者の方の利便性等を考えれば設置をしていくべきかというふうな考えはあるんですけれども、その辺は場所場所で今後、費用的なも今まで含めて検討していく必要があるかということになっておりまして、具体的なまだ方針というのは決めていないということです。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（村山弘行委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今のバス停のベンチの件で、市役所の前のベンチが1つ増えとるんですけれども、そういうベンチ、たしか市の職員の方で取り付けされていたと思うんですけれども、この請負金額に関してはいろいろな分でそういう市の方がされた場合は材料費だけをこれ

に含むということですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） ベンチの設置というのは、これはもう物を買ってきて、ぼんと据えつけるだけです。ある程度の安定性がないと危ないもんですから、そこに簡単な重しをつけたりというような、また衝突を防ぐための反射材を設置したりとかというような形で、これは市の職員のほうで対応しております。ですので、ここの工事費につきましては、先ほどお伝えしましたバス停の設置についての工事費に限られたものであります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 83ページの302市民政庁まつり関係費が上がっていますが、見送るという話を聞いていますが、これ何で予算が上がってきているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） 今ご質問にありました市民政庁まつりの関係費ですけれども、こちらにつきましては、委員の方もご承知だと思いますが、特別史跡大宰府跡を会場に使っております市民政庁まつり、史跡地のやはり保護、また渋滞問題、いろいろな問題がありまして、これ今年に限った話じゃなかったんですが、これまでのいろいろな課題を一度整理しようということで、今後の開催を見越したところで、次回の開催のための休止期間ということで、平成29年度については一旦お休みをするというふうな形になっております。

また、このお休みになったそれを決定いたしましたのが、10月の祭りが終わった後、実行委員会、また実行委員会の中でいろいろな問題を整理、協議をいたしまして、その後、役員会というのを行いました。役員会の中で複数回の協議、また現地まで行って協議を行って、最終的にその案を実行委員会、市内22団体の皆さんで構成する実行委員会になりますが、この実行委員会の方針を決定したというのが2月8日になります。今年、年明けて2月8日の実行委員会ということになりまして、ちょうどタイミング的にこの予算の審査、またこの予算書を作成するタイミングとしては間に合いません、一旦審査を受けました予算の額をこちらの予算書のほうに計上しているというふうな形になりまして、今長谷川委員のほうからご指摘がありましたように、こちらにつきましては厳しいということになりますので、原則こちらの450万円という予算につきましては支出はないというふうな形になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 課長、一生懸命説明したいのよくわかるんですけども、要は予算立ての時期とこの委員会の決定の時期がずれとったというだけでしょ。

○地域づくり課長（藤井泰人） そうです。

○委員長（門田直樹委員） なるべく簡潔にお願いします。

堺委員。

○委員（塚 剛委員） 政庁まつり実行委員なので、一言言っておかないといけないと思いましたので、2つあります、確認事項です。

前年度はたしかこれ500万円で上がっていました。50万円減額された理由を1つお願いしたい。

それと、今度の実行委員会が立ち上がっていくと思いますが、今年度は休止、来年度からこの予算枠の範囲の中でまた行うというこの金額担保ができるのかどうか、そのあたりのご答弁をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） こちらの補助金につきましては、市内全体で予算の審査の中で決められた金額になります。現在、枠といいますか、予算の枠から全体の見直しもされておりますので、その中でこの金額になったということになります。

また、こちらの予算につきましては、先ほど言いましたように平成29年度は一旦休止をするということで、今後、平成30年度の開催に向けて同様な費用はまた必要になってまいりますので、こちらの予算につきましてはまた開催が決まりましたら予算要求をしていって、こちらの金額は確保していただくかというふうには思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 240ページに戻りますけれども、この中に需用費、また印刷なんですが、新規に64万円を計上されていますけれども、これは何を印刷されるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） こちらの印刷製本費につきましては、時刻表の印刷を考えております。前回作成いたしましたのが平成26年度になりまして、もうこちらの内容につきまして、そろそろ在庫の関係もございまして。また、この間、例えば総合体育館のバス停のところの名称が変更したりということになっておりますので、そういったバス停の名称、またこの間、時刻も若干部分的に変更になっているところがありますので、そちらを修正したところで在庫を確保するというふうなところで、1万5,000部を印刷する予定にしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） コミュニティバス運行補助金でございましてけれども、これ例年に比べたら500万円ほど減っているんですけども、私も昨年一般質問でさせていただきましたけれども、そのときには平成29年度は予算削減に向けて検討するというご回答をいただいたものと思っておりますけれども、その意気込みかなとは思っておりますけれども、その辺理由を教えて

いただければと思います。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） こちらの補助金につきましては、今現在運行事業者であります西鉄のほうと細かい詰めをしておるところです。その中で、これまでで金額、経費の一番変動していました燃料費につきまして、このところ少し落ちつきを見せております。そういったところで、少し今までよりも絞った形でこの金額を今協議をして、最終的にそれを詰めていこうかというふうに考えております。

その中で、今現在、昨年度の金額を少し抑えられたところで今予算を要求させていただいているところです。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） そしたら、もうあくまでもこれ予算的な措置であって、これ増える場合、例年どおりやったら1億4,000万円ぐらいという形になりますけれども、その可能性もあるということ考えていいですかね。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） そうですね。そういった物価の関係とかもございまして、これからの燃料費の変動とかというようなところも含めまして、金額のほうは固まってまいります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 81ページ、310のボランティア関係費、83ページにまたがっていますけれども、委託料の運營業務委託料はNPOのボランティアセンターだと思うんですけども、ボランティアセンターさんと社協のボランティアの関連の部署と連携するような打ち合わせとかというようなことは年間を通して定期的に行われているのでしょうか。福祉関係とか子育て関係でダブっているところがあるのかなというふうに思っているんですけども、その点お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） ボランティアセンターにつきましては、定期的に市とボランティアセンターのほうと協議をしておるところです。また、その中で、社協が携わっております、例えば講演等につきまして、社協が受け持つ分、またそこで社協が受け持てない部分についてはボランティアセンターのほうで受け持つというふうな形で、調整をやりながら、例えば講座の内容とかを決めております。ということで、こちらのボランティアセンターと社協のほう、また市も含めまして連携というのをやっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の内容だったら、何かイベントをするときに連携しているというふう
に思ったんですけども、通常それぞれのボランティアさんが活動していることについてお互
い一緒にやっていくとかというような、コーディネートをするようなことも含めて定期的に話
し合いをしているというようなことはないでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤井泰人） 先ほど触れました防災関係にかかわるボランティアにつきまし
て、密に連携をとっております。先ほども触れましたけれども、社協でやる分とこのボランテ
ィアセンターのほうでやる分というふうな形で、内容をそれぞれで役割分担、もしくは調整を
やりながら中身のあるものにやっっていこうということで、連携をとりながらの対応をしており
ます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 県も以前、私もかかわったんですけども、県民ボランティアセン
ターというのがクローバーにあって、もともと県の社協が1階に入っていて、でかいんですよ
ね、もう人数も歴史も業務も全然桁が違うんですけども、もともとボランティアというのは福
祉がほとんどやったわけですよ。しかし、その中にだんだんやっぱりまちづくりであるとか
、子どもの見守りであるとか、災害対応であるとか、そういったものは独立してやっってい
こうということでそういうものができたけれども、その後いろいろなことがあったんですが、こ
れがうちぐらいの自治体だったら余り分けずに臨機応変にやられていいと思うけれども、その
前提として、福祉関連の社協が大体担うべきところというふうな分野があるんだから、そこが
しっかりすることですよ。そこがびしっとやることで、初めてボランティアセンターが生き
てくると思うので、意見ということでよろしくお願いします。

それでは、5目地域づくり推進費までについて質疑漏れありませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、ここまでにして、11時15分まで休憩します。

休憩 午前10時59分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時15分

○委員長（門田直樹委員） 再開します。

文書情報課長。

○文書情報課長（百田繁俊） 先ほど申し上げました予算審査資料の記載の中に誤りがございま  
したので、この場をかりまして訂正をさせていただきます。

審査資料の7ページ、基幹業務系システムの3項目め、基幹システムサーバーと機器更新対  
応業務の契約期間でございしますが、正しくは平成28年7月27日から平成29年12月31日の誤りで

ございました。おわび申し上げ、訂正させていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 今、担当課から訂正がありました。この件に関しては口頭による訂正でよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） ということで、よろしくをお願いします。

それでは、進めます。82ページ、83ページで、2款総務費、3項徴税費、1目税務総務費、85ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目賦課徴収費、87ページまでですが、質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 13節委託料の点についてお尋ねをいたします。

この中に平成28年度ではe L T A X業務システム委託料、それから歴文環境税の関連用調査委託料というのが載っておりましたけれども、これがすっかり消えてしまっているということは、これにかわるものが何かあったのか、どういう事情があったのか、ご説明をいただけませんかでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） まず、歴史と文化の環境税関連調査委託料ということですが、こちらのほうは、平成29年度に税制審議会を開きます関係で、10年ぶりになりますけれども、市民意識調査というのを平成28年度中に実施をしております。3月末を目途に報告書の作成をさせていただいているところなんですけれども、市民意識調査とそれから駐車場事業者、それから来訪者調査というこの3つを組み合わせた調査を実施しております。その関係の委託料ということでございます。

それから、e L T A X業務システム委託料でございますが、済みません、今資料を手元のほうに……。調べさせていただきたいと思っておりますので、お時間いただきたいと思います。後ほど報告させていただきます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 15節ですけれども、歴文税の周知の看板設置ということになってはいますが、これは駐車場に新たに入れるとか、どういうことでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 歴文税でございますけれども、新規の駐車場を指定する場合がございますので、そのための看板設置の予算として毎年計上させていただいている分でございます。

○委員長（門田直樹委員） 有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 新規ですから、新しく増えるであろうというところの予算だけですか

ね。今までのことじゃなくて。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 今私どものほうで駐車場の実態調査なんですけれども、職員のほうで回って見させていただいているところがございます。そういうこともありまして、最近、コインパーキング等が増えてきておりまして、その辺で今までの見落としなどもありましたものが幾つかありましたので、その点について業者と進めさせていただいて、年度がわりを目途に今新しく指定をさせていただくと、そういうふうなところで動いております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 委託料の13万円の中の航空写真撮影業務委託料、この業務内容についてお伺いしたいと思います、金額が結構な金額なので。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 平成30年度なんですけれども、固定資産の評価がえの年、3年に1度なんですけれども、その前年なんですけれども、航空写真を撮りまして、現状の確認をもう空から見られるような形で、これ予算計上をさせていただいているものでございます。隔年ということで、昨年とは上げておりませんでした。そういうものでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（森田正嗣委員） 19節の負担金のほうなんですけれども、このうち4つ目になりますか、歴史と文化の環境税関連施設整備等事業補助金、これが平成28年度から70万円ほど上がっておりますけれども、これは何に使われるということでこうなっているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） これは観光駐車場協会というものを駐車場事業者の方でつくっていただいております。そちらのほうでさまざまな事業をしていただいております。当初の段階で税込額の7%相当分をそちらのほうに補助するというふうなことでずっとこれまで続いてきておりました。歳入のほうでも、昨年から今年、1,000万円ぐらい歳入を増やしておりますので、その分の7%分が増えているというところがございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今の関連なんですけれども、1つはその7%分でどのようなことがされているのかというのが気になったということ、まずそれをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 駐車場協会さんのほうなんですけれども、公金として支出をしますものですから、加入されている事業者さんたちにまたさらに個別に配分するとか、そういうことで使うわけにはまいりませんので、例えば最近の事例ですと、太宰府駅の駅前の交差点がありますけれども、あそこに観光客が増加したということで、非常に交差点はマナーとかの問題があ

りまして危険だということで、臨時的に警備員を立たせたりとか、そういう形で使われたりとか、それからあと年末年始等の看板等なんかも一部立てられたりとかということで、そういう天満宮周辺の全体のいろいろな経費に使ってらっしゃるということでございます。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 毎年7%というふうに額が決まっていれば、これが増えればどんどん増えていくということになると思うので、年々それによって行われる事業というか、充実していくのではないかと思うんですけども、報告のようなものは毎年毎年もらっているという形になっているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） これも補助金ですから、毎年決算に合わせてご報告はいただいております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。それでは、86ページ、2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目、2目、89ページまで、質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 2目の住居表示費なんですけれども、住居表示維持管理委託料というのは誰に委託して、どのような成果が上がっているのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（行武佐江） 委託料で住居表示維持管理委託料は、平成29年度は白川、それから連歌屋、三条、およそ1,200世帯の街区表示とか、町名表示とか、住居表示番号などの取りかえをする予定になっております。28年度の業者さんは丸菱航業さんというところです。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 1,200世帯の取りかえということは、例えばどこどこ何丁目、何番の何々というふうな一軒一軒の取りかえの表示板というか、それでいいんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（行武佐江） 事前に自治会長さんのお宅に参りまして、こういうことでやらせていただきますということで回覧板とかも回していただいて、一軒一軒のお宅を回しまして、玄関先に今ある分で、特に昔は市のカラーの紫色をやっているところもあるんですけども、直射日光の関係で白くなってしまっていて見えにくくなっているということで、今濃い緑色のほうにずっと順次変えていっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

住民基本台帳事務費の19節負担金のことですけれども、160万円ほど増額しておりますけれども、この事業費負担金というのは何の関係でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（行武佐江） これはマイナンバーカードの作成とか、交付とか、それで国のJ-LIS（地方公共団体情報システム機構）、そちらのほうにお支払いしている金額になります。以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

それでは、88ページ、2款総務費、5項選挙費、1目、2目、91ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款総務費、6項統計調査費、1目、2目まで、93ページまでですが、質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

平成28年度になかった項目として991の就業構造基本調査、992の住宅・土地統計調査区設定費というのがございますけれども、ご説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） まず、991の就業構造基本調査でございます。こちらにつきましては、昭和31年からはおおむね3年置き、昭和57年からは5年置きに実施をしております。前回は平成24年度に実施をされているということでございます。こちらにつきましては、国民の就業状態といいますか、就業、不就業の状態等を調査をするというもので、今仕事についていらっしゃる方であればいつからついていらっしゃるのかとか、あるいは収入がどれぐらいあるのかとか、転職の予定があるのかどうかとか、そういったものを国勢調査の調査区が553調査区ありますけれども、そのうち12調査区を対象にするようになっておるということで聞いております。こちらが今申し上げました就業構造基本調査であります。

住宅・土地統計調査のほうでございますけれども、こちらは今回、平成29年度は調査区の設定費ということでなっております。こちらは平成30年度に実際の本調査を行うようになっておりました、こちらは5年に1回でございます。こちらにつきましては、住宅の構造とか広さ、あるいは持ち家とか、賃貸なのかとか、そういったことを調査をさせていただきまして、世帯員が何人かと、間取りがどれぐらいで、あるいは木造、あるいは非木造、そういった区分等も調査をさせていただきます。将来的に買う、持ち家を持ちたいのかどうかとか、そういう入居者、住んでいらっしゃる方の意向まで調査をするというふうなものでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 2目の基幹統計調査、先ほど森田委員も質問されましたけれども、基幹統計調査全体という形になるかと思えますけれども、こういった調査ですね、今課長の説明を受けたのは国や県が実施するものもあれば、市としてやるものもあるのかなと思ったりしますけれども、市として行いますそういった統計調査のデータを分析して、施策の立案とかそういうところへ活用する人員の配置とか、そういったものへの対応と、あと具体的に例えば過去の実績といえますか、もし答弁できようでしたらこういった統計調査のデータ、件数だけはもう結構です、お持ちのものをお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） こちらの2款6項のところへ上がっております統計調査につきましては、基本的に全て基幹統計調査になります。市独自の統計調査というのは、毎年度行っております市民意識調査が定例で行っているものとしてはもうそれ1つだけでございます。

あと、基幹統計調査の中では、教育関係の統計調査と福祉のほうでの統計調査がそれぞれ1つずつございますけれども、主だったものとしてはそれぐらいでございます。出てきた統計調査の結果の活用につきましては、一応私ども経営企画課のほうを中心となりまして、そちらのほうで各課のほうに政策に生かしていただきたいということで、取りまとめを行ったものをお出しをしております。

具体的な施策にどういうふうを活用するかにつきましては、各課の中でそれを見ていただいて、どういったデータを活用するかというのを決めていただくようにしております。そういった意味で、取りまとめは全てうちのほうでやるようにしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） これもう一点確認ですけれども、まだ太宰府市としてはオープンデータへの取り組みというのは検討状況はどうなっているか、そこまでお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） オープンデータの取り組みにつきましては、まだ検討の余地があるということで、太宰府市といたしましてはまだまだもう少し時間はかかるかと思えます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 選挙費のところに戻ってよろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） はい、どうぞ。

○委員（笠利 毅委員） 990の選挙啓発費のところ素朴に疑問を感じたのでお尋ねしますがけれども、18歳選挙権というものが成り立っていますから、啓発等には力を入れていく必要がある

のではないかと思うんですけども、特段大きな変化はないようなので、市としてでもいいですし、その下に筑紫地区選挙啓発推進協議会というのがありますけれども、他市と一緒になくてもいいんですけども、何かしらの予定とか、あれば教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 予算的には前年度と余り変化はございません。選挙制度の周知ですとか、理解というものを深めるというのが選挙啓発の趣旨になりますので、例えば職員が行く出前講座ですとか、高校への出前授業のような、そういうところを想定しております。特段費用は今のところ、想定しておりません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、93ページまでの上のほうはいいですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 92、93、2款総務費、7項監査委員費、1目、95ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3款民生費に入ります。1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、99ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

97ページ、042社会福祉協議会関係費でございますが、これ平成28年度と同額の予算立てになっています。念のために平成27年度を調べましたら7,658万円、平成27年のほうは660万円ほど増額して平成28年の予算立てをされております。それで、私どもはずっと社会福祉関係のことでは社会福祉協議会というのは非常に重要だというふうに認識しているんですが、これはどういったことだったんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 平成27年度から平成28年度にかけての増額は、職員の1名増というところでの増額であったということでございます。今回、増額であるということにつきましては、社会福祉協議会のほうでの持っております基金、この活用をお願いをしたいということで増額となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） たしか社会福祉協議会は定款があって、設立目的がはっきり法人化として独立しているはずですが、そこで将来の建設費とかそういったものの積み立てがあるはずですが、基金というのは一般にそういうものに使われるものではないんですか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 現在の社会福祉協議会の基金の例規を見ますと、特段そういったところでの目標の分については見当たりません。現在、社会福祉協議会のほうで福祉基金という名称で持っておりますので、その基金の活用をお願いしたところでございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連して済みません、ここは外部評価委員会が今回入ったの調査等があったと思うんですが、私も全く同じで増額をするべきだと思っているんですが、そういった意見はなかったんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 現在につきましては、外部評価委員会での指摘、ご意見等もございましたので、ここの社会福祉協議会の体制については、次年度以降につきましても体制の強化、支援を継続していくというところに変わりはございませんが、平成29年度につきましては、大変申しわけありませんが、社会福祉協議会が持っているまず基金を充てていただいて、その後、来年度また体制について協議を行っていきたいというふうに思っております。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 予算に反映するという目的で基本的には外部評価委員会があるというふうに認識しています。その中で、事業がどんどん増えてきているのが、この社会福祉協議会の今事業を見たらびっくりするぐらい増えてきていて、本当に基金があるからというような問題ではないと思いますので、もう一回ご再考いただきたいと思います。これは要望で結構です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 私も同じ社会福祉協議会のところに関してなんですけれども、今年活動計画をつくる予定になっているはずなんですけれども、この予算書を全体として見れば何か計画をつくる時にはそれ用の委託料、その他何かしらの予算がつくことが多いんですけども、今のお話からすると、完全に社協が独自に持っている予算の中から基金も崩すなり何らかの形で活動計画の作成には入るというふうに理解してよろしいんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） そのとおりでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 95ページ、040民生委員等関係費の01生活指導員のところなんですけれども、平成28年12月に民生委員さんの交代があっていると思うんですけども、今回、人数が増えたというお話を聞いていますが、増員された数と、1人当たりの世帯数が恐らく減って

るんじゃないかと思うんですけども、そののところをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 平成28年12月1日に現行よりも15名増えております。総数が現在、定数が94名でございます。増員前は、平均1人世帯が約400世帯でございましたが、15名増えたことにより、平均でございますが、324世帯になろうかというふうになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 国基準が240世帯というふうに前聞いたことがあったんですけども、これにはまだほど遠いなというところなんですけれども、これからの計画とか何かありましたらお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 民生委員の改選につきましては、任期が3年でございますので、次については3年後でございます。その3年の中で、現行のそれぞれの業績ごとの活動状況、世帯数、そういったものを勘案いたしまして、3年後の改選前に再度内部で協議いたしまして、民生委員の全員については検討してまいりたいと思っております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 97ページ、043の13節委託料の地域福祉計画推進委託料ですが、去年は策定委託料ということでつくってございましたが、本年も今度は推進委託料となっておりますが、委託先はどこなのでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 現在、まだ委託先は決定しておりません。予算の積算の中で、地域福祉の推進、浸透のために住民の方にいかに浸透していけるかというところの現在積算を行った上での金額でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 97ページの061生活困窮者自立支援関係費の中の13番委託料で、これは家計相談支援はグリーンコープさんがされていると思うんですが、これはグリーンコープさんしか今のところまだやっている業者がないのかどうか、まだずっとグリーンコープさんに委託されるのかどうかということと、件数。

それと、就労準備支援のほうはどちらに委託をされているのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 現在、家計相談業務につきましては、グリーンコープのほうに委託をしております。現在の家計相談につきましては、グリーンコープとそれぞれの社会福祉協議会、そちらのほうに委託をしているというケースが県内では散見しております。

ただ、現在、社会福祉協議会に委託をしているところにつきましても、社会福祉協議会そのものの業務内容が難しいというところで、なかなか手を挙げておらず、現在は県内ではグリーンコープさんが実質的に活動されているというふうになっております。

この家計相談員につきましては、今年1月、平成29年1月から実施をしております、週1回でございます。1月から現在スタートをしておりますので、1月末現在でございますが、家計相談件数については3件というふうになっております。

就労準備支援につきましては、本年4月以降の新事業ということになるので、現在についてはまだ数等は未定でございます。ここにつきましても、委託先でございますが、まだ未定でございます。現在、就労準備支援の内容について、仕様書のほうの作成の準備を検討しているという状態でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 4月からなのに未定ということで、これは業者が決まり次第始めるといふことでよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） そのとおりでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

済みません、私も社協の補助金について方針を少し聞きたいのですが、いわゆる特養なんかでも内部留保ということで、それをまずはき出せということと言われて、ただそれはきちんとした目的を持って留保というか、留保という言い方がどうなのかというものもあるんだけど、余った金という、余った金じゃないんですよね、それは将来に使うために置いとく費用なんですよ、ということで、そういうところから出せということであれば、今後、地域包括ケア等で社協の役割というのはどんどん増えていくんで、間違いなく、増えていかないけないんですが、それに関連しても社協の仕事は業務量というのはもう今のままでいいんだよと、その分増やさんかわりにお金が余っているでしょうという考えなのか、その辺のところを少し説明してください。

福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 現在社会福祉協議会のほうに持っております基金につきましては、もちろん特定の目的で積み立てているものもございます。例えば、保育園に関しての積み立て、この分については特定目的というふう処置をしております。

あと、職員が退職をするときに払う退職金、この積み立てについても特定目的ということで積み立てているものについてもございます。それ以外のものにつきまして、社会福祉協議会のほうで法人運営事業というところで福祉基金というのを持ってございます。この福祉基金につきまして、今年度につきましてはそちらのほうの基金を活用して運用していただきたいというふうになっておりますが、次年度以降につきましては、今年度4月以降の社会福祉法人等の改革で公益事業等の実施というのもでございます。そして、外部評価による社会福祉協議会のさらなる活性化というご意見等もでございます。もう一つ、4月以降に地域福祉計画、これが本年、本市のほうで3月末策定予定でございますが、それを受けました地域福祉活動計画、この計画の実践に向けて、次年度以降、社会福祉協議会の活性化に向けて本市も連携をして協議をしていくというような方針でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。

じゃあ、それでは進みます。98ページ、2目老人福祉費、101ページまでですが、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、100ページ、3目障がい者対策費、103ページまでですが、3目について質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 031療育事業推進費の療育支援専門員さん、これ何名ですか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課障がい福祉担当課長。

○福祉課障がい福祉担当課長（菊武良一） 言語聴覚士の方が2名、あと臨床心理士の方が2名、以上4名でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、ほかにごございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 102ページ、4目障がい者自立支援費、105ページまでですが、4目について質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 103ページ、032障がい者地域生活支援関係費の07賃金の相談員なんですけれども、前年よりも増額になっているようですが、相談員さんが何人いらっしゃるのか、どこにいらっしゃるのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課障がい福祉担当課長。

○福祉課障がい福祉担当課長（菊武良一） この相談員につきましては、現在1名、社会福祉士が事務所内におります。新年度につきましては、社会福祉士2名、19万2,800円の12カ月の2名ということで予算のお願いをさせていただいているところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

4目よろしいですか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 105ページの033の障がい児通所支援の関係ですけれども、扶助費なんです、障がい児通所支援給付費が毎年度6,000万円ぐらい上がっていきようですよ。これは障がい児が増加してそうなっているのか、その中身がよくわからないんですが。わかったら、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課障がい福祉担当課長。

○福祉課障がい福祉担当課長（菊武良一） 通所事業支援給付費の中身といたしましては、放課後等デイサービスとあと児童発達支援ということで、市内で言いますとすみれ園、小郡市にあるこぐま学園に通園等されておられる方の給付費でございまして、今委員さんがおっしゃるように、過去ここ数年倍増で増えてきておりますが、現在のところ、推移を見ますと、夏場以降なんです、ほぼ横ばいで給付費が要っているような状況も見受けられます。今年度補正予算を入れまして2億1,400万円の予算ということに対しまして2億2,000万円ですので、現在の状況でいきますと右肩上がりで急増していった分もかなり落ちついてきたのではないかというふうに見込ませていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、関連で。この部分についての補助とか財源の内訳を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課障がい福祉担当課長。

○福祉課障がい福祉担当課長（菊武良一） 財源につきましては、歳入予算になりまして、33ページをお願いいたします。

国庫予算の関係で、14款1項1目1節の社会福祉負担金の上から4番目になりますが、障がい児通所支援給付費が歳出額の2分の1で1億1,000万円と、あわせまして39ページになりますが、15款県支出金、1項県負担金、1目の民生費負担金の1節社会福祉負担金の上から3番目、障がい児通所支援事業費4分の1で5,500万円というのが財源になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5目援護関係費、107ページまでですが、5目について質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

105ページ、041家族等支援給付費というのが新しく設けられております。これがどういった経緯なのか、ご説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（友添浩一） 平成28年度につきましては、予算書105ページの040と041、これを一緒に援護費ということで計上させていただいておりましたが、それぞれ平成29年度につきましては、所管する担当課を分けております。040が福祉課、041が生活支援課となります。この予算書の計上につきましては、事務事業評価とリンクをしているということになりますので、所管課が違うということでまず分けさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、106ページ、6目、7目、8目までについて質疑はございませんか。  
いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 106ページの9目国民年金費、109ページまでですが、9目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、108ページの10目人権政策費、111ページまでですが、質疑はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 111ページの19節負担金のところ、運動団体の補助金につきましては追加資料も出していただきまして、10ページに平成29年度予算、平成28年度と比較したもので今回出していただいておりますけれども、運動団体によっては平成29年度は平成28年度と比較してマイナスになるところがありますけれども、これは見直し年度との関係というふうに理解しておいてよろしいのかということをまずお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） この団体の補助金につきましては、3年ごとに見直ししておりますので、平成29年度が見直しの時期ということで、2団体につきましては10%減ということで協議をしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） また3年間は今度、平成29年度の形で行くというふうになるというふうに理解しておりますけれども、これは私の個人的なあれですけれども、ここは早期に見直しといたしますか廃止に向けた動きが私は必要だと思っているんですけども、そういった部分

で考えたときに、今後もまだ3年ごとに10%というのを基本に据えていかれるのか。それとも、それは筑紫地区の中でのそういう形になっているのか、そこまでお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） この見直しにつきましては、筑紫地区で協議しながら行っておりますので、運動団体等も3年ごとということでのお話を以前から続けておりますので、その方向性で現在は考えております。

以上です。

○副委員長（藤井雅之委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、11目人権センター費、113ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、112ページの3款民生費、2項児童福祉費、1目、2目、115ページまでですが、質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 113ページ、子ども・子育て支援事業計画管理費、010ですけれども、子育て会議の平成29年度の回数は何回分予定されているのかということをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 2回を予定しております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今年度は保育園の定数の検討などがされたんですけれども、今後、学童のことについても検討が必要かと思うんですけれども、そういう内容にこれから変わっていくという予定になっていますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 平成29年度につきましては、計画の見直しの予定はございません。定例的に10月ごろの前年度の確認と年度末ぐらいを予定しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） これは子ども・子育て会議2回ですけれども、委員の皆さんは何名ぐらいいらっしゃるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 12名になっております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目まで行ったから、114ページ、3目教育保健施設費、119ページまでですが、3目について質疑はありませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 115ページ、010の私立保育所関係ですけれども、この賃金の保育士等ですが、嘱託保育士が何名で、臨時保育士が何名なんですか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 嘱託保育士が30名、朝晩のパートの保育士が6名、調理業務が4名、看護師1名、栄養士1名になっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 117ページから119ページの保育施設運営支援費の19節負担金補助及び交付金の届け出保育所のことなんですけれども、職員健康診断費と児童の健康診断費の補助金が出ているんですが、この部分が前年度とも変わらず一定の金額で推移していますけれども、待機児童が増えている関係で、届け出保育所を利用される保護者の方が増えてくると思うんですけれども、その手当てとして保育料の一部補助などもお願いしたいところであるんですけれども、そういうところの検討はされたんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 届け出保育へ行かれている保護者への補助金でございますが、検討はいたしました。今年度、平成29年度は計上するには至っておりません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 概算大体どのくらいというようなことを考えていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 実際に負担されている届け出保育所の保育料額の2分の1程度を見込んで計算しましたところ、現在、待機児童でおられている方の70%がそれを利用されると見込みまして、1,400万円程度になるかと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 117ページ、013保育施設運営支援費というところの19番負担金補助及び交付金、保育所保護者会補助金というのは何園出されていますか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 10園の認可保育園のうち8園に出しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） これ補助金なんで当然決算書等が必要だと思うんですけども、大部分何に使われているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 1園当たり9万5,000円の8園分になります。保護者会の運営に当たりまして、多く使われているのは保護者会のほうで遠足等に行かれる場合のバス代に充てられている、それに充てるためというわけではないんですけども、その金額が一番多いのかなというふうには思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 117ページ、010の15節工事請負費173万6,000円ですけども、これは平成28年度には見当たりませんが、これは突然出てきていますけれども、何に使われるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） この工事請負費につきましては、南保育所の給食室の改修であるとか、五条保育所の階段手すりが今片側にしかついておりません、その部分を両側につけないと避難等のときに児童の安全が図れないということで、そういった追加工事もろもろを見込んでおります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

別のこととなりますが、011、19節の負担金ですけども、平成28年度は保育所整備交付金というんでしょうか、それが37億円近くあったのは、現在これは多分目的を達したとして載せられていないようですけども、ここに新たに19節の中に保育所等改修費等支援事業補助金というのが2,400万円出ております。これはどういうものでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） こちらの予算につきましては、小規模保育施設を今回公募で1カ所募集するんですが、国の基準額の4分の3が補助額になっております。その分でございます。基本的には、建物を建てるのではなく、既存の賃貸物件等を借り上げられまして、その分の中の改修費用を補助するものになります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 117ページの教育保育施設費の負担金補助及び交付金なんですけれども、例年、保育所整備交付金というのがついてたんですけれども、これについて、ないという事は平成30年に向けて新規開設とか、保育の、新たな開設というのは今のところ予定はされてないのか、その辺お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 平成30年4月に向けましては、繰越予算にはなりますが、水城保育園を運営する法人が新設いたします保育所、60名定員の分が1園でございまして、一般質問でも出ましたとおり、待機児童が多くなっている状況でございますので、今後、検討いたしまして、平成31年4月に向けた保育所整備を今のところ検討している状況でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 012の病児保育関係費でございますけれども、委託料のところでございますけれども、昨年4月から病児保育施設が1件増えたんですけれども、それによって利用者が増えたのかどうか、その辺お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 1カ所から2カ所になりまして、倍というよりも3倍近くに増えております。これは、既存の1カ所につきましても利用者は増えていきますし、同等、同じぐらいの人数、新しいところも利用されております。これは、やはり2カ所になりまして、保護者の皆様に周知がかなり広がったのかなということで利用が増えていて、もちろん市内だけではなく、新しいところが市境のところもございますので、市外の利用者も増えているという状況ではございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 昨年から今年にかけてインフルエンザが非常にはやった傾向がございまして、そういう時期に何か混乱とかそういうことはなかったのか、その辺教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） インフルエンザ等の感染症の場合が、隔離をして預からないといけないということがございますので、それぞれの施設は4名定員なんですけど、部屋の都合で2名しか預かれないという場合もございます。そういったときに、保護者の方が預けたくても預け

られないという状況は出ているようでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3目までで、13時まで休憩します。

休憩 午後0時02分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時00分

○委員長（門田直樹委員） 再開します。

税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 午前中、森田委員の質問に対しまして、1点回答を保留させていただいておりました件がございましたので、その件についてご回答申し上げます。

賦課事務費の中の委託料でございますけれども、昨年度まで計上されておりましたeLTAXの業務委託料、昨年度予算で311万1,000円、これが平成29年度予算については計上していないということでのご質問でございましたが、こちらのほうでございますが、午前中、文書情報課長のほうからも少し触れておりましたけれども、基幹系システムのクラウド化というものが今年度から契約が変わっておりますけれども、その関係で、予算の計上科目を基幹系システムのほうに統合させていただいたというところでございます。

したがって、業務が大幅に変わって予算が必要なくなったというふうな、そういうものではございません。基本的には業務は従前どおりということでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、118ページ、4目学童保育所、5目子ども医療対策費まで質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 3款2項4目学童保育所費の関連ですけれども、来年度学童保育所に入れない、待機になるようなお子さんは数字として出ますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） 1月末で新年度の申し込みを締め切りまして、3月の今現在で児童数が689名います。なるべくその後も受け付けはしておりましたが、どうしても新年度に向けての体制もとらなければいけないということで、ある程度でもう期限を切らせていただいて、待機児童というのはその後申し込みには来られまして、ご説明等いたしまして、了解はさせていただいたということと、あと民間さんとかの分もご紹介したということで、済みません、待機児童としての数は把握させていただいておりません。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） じゃあ、締め切り後に問い合わせをされて、受け入れをしていない方がいらっしゃるということですね、数は把握されていないのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） そう数は多くありませんけれども、若干そういう方はいらっしゃいます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） それと、受け付けは6年生まで入所できるという形での受け付けになっていますか。6年生まで入所受け付けということになっていますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） 6年生まで受け付けはしております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページの6目家庭児童対策費、121ページまでですが、質疑はございませんか。

それでは、120ページの3款民生費、3項生活保護費、1目、2目、125ページまでですが、3項について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同じく3款民生費、4項災害救助費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費に入ります。1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、127ページまで、1目について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 125ページの健康づくり推進費、健康づくり奨励品、今回は500万円になっています、昨年が700万円だったと思うんですが、200万円減額になった理由というのはどういうわけでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（伊藤 剛） 200万円減額になった理由なんです、平成27年度から元気づくりポイント事業が開始されまして、平成27年度の健康づくり奨励品費が250万4,000円という金額の決算を受けて、700万円は少し多いということで200万円減額させていただいております。以上です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、今回3月15日で健康づくりポイントが締め切られて、件数的に

は平成27年と平成28年と、教えていただきたいんですが、件数を、よろしくをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（伊藤 剛） 平成27年度の元気づくりポイントを商品券に交換された方は1,182名いらっしゃいましたが、平成28年度、これは3月10日現在ですけれども、1,857名の方が商品券への引きかえを済ませていらっしゃいます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 自治会の事業にも対象を広げていただいたんですね。非常に私のところでももう皆さんが熱心に取り組んでおられます。この事業をぜひ継続して続けていただきたいというふうに要望しておきます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、128ページ、2目保健予防費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3目母子保健費、131ページまでですが、3目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、4目老人保健費、133ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5目環境衛生費、6目公害対策費、ページめくって、環境管理費まで、135ページまでですが、質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 133ページ、公害対策費、細目170なんですけれども、事務補助員が計上されていますけれども、この内容をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） 事務補助員の内容につきましては、育休職員の代替えの嘱託職員の賃金でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、134ページ、4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、ページめくって、2目塵芥処理費、そしてもう一ページめくって、3目し尿処理費、139ペー

ジまでですが、2項について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 137ページ、細目190、ごみ処理費なんですけれども、19節福岡都市圏南部環境事務組合負担金なんですけど、かなり減額されていますけれども、これについてご説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） 福岡都市圏南部環境事業組合の減についてご説明申し上げます。

平成28年度は公債費のほうに繰上償還分を計上しておりましたが、運営も始まりまして、新規の起債償還等もないため、減額となっております。

あわせて、職員数を13名から11名に減少させておりますので、その分の減でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら、この金額は大体これからの毎年の金額という目安と考えると、ろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） おおむねこの金額なんですけど、起債償還の猶予期間が過ぎますと、本償還が始まりますと若干の増額をしていく予定となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 139ページの192ごみ減量推進費の13節委託料、段ボールコンポストなんですけれども、今現在、毎年何件かずつ申し込みがあっているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） お答えいたします。

コンポストの講座の人数ということでよろしかったでしょうか。

○委員（長谷川公成委員） 件数です、何件ぐらい申し込みがあっているのか。

○生活環境課長（川谷 豊） 講座の受講人数ということで申しますと、平成27年度で247名ということになっております。

以上でございます。

○委員（長谷川公成委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 137ページ、美化センター管理運営費の13節委託料、3番目のセンター

施設整備基本方針策定業務委託料、この450万円について説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） センター施設整備基本方針策定委託料についてご説明申し上げます。

美化センターは、平成3年4月の稼働開始以来、来年度で27年目を迎えることになっております。本業務委託につきましては、プラント設備の老朽化に伴う設備改修を計画的に行い、埋め立てを行います最終処分場の延命化に取り組むための残容量の計測を実施するとともに、今後の施設整備についての基本方針を策定するものでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） これは公共施設整備計画とは関係ない、別のものになるということですか。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） 別のものがございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 139ページ、細目192、ごみ減量推進費なんですけれども、事務補助員が計上されています。これは市長が言われていましたごみ減量元年にかかわることかなと思ったんですけれども、これについて詳しい説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） 事務補助員につきましては、ごみ減量推進員という職員の雇用に係るものでございます。

業務内容といたしましては、ごみの大量排出事業者への指導、事業所、学校、病院等への可燃性一般廃棄物のリサイクルの推進、削減指導を実施いたしまして、効果的なごみ減量につなげてまいります。

あわせて、スーパーや飲食店等を訪問いたしまして、食品ロスの削減指導等も実施するところで考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 事業所を主体に活動されるということがよくわかりました。

けれども、ごみ減量は今までの活動とすると、個人の生ごみを減量化しようというところで、先ほど長谷川委員も言われたコンポストの活動もそうだと思うんですが、個人、各家庭、

そちらのほうでの働きかけは非常に重要かと思うんですけども、こちらのほうはどうでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 生活環境課長。

○生活環境課長（川谷 豊） 市民の皆さんの個人への働きかけということでございますが、現在、市民1人当たりで計算いたしますと、平成27年度ですが、1人1日705gの可燃物が出ております。私どもの計画といたしましては、平成32年度までにこのうち51g、コップ4分の1程度なんですけど、この減量を目指しております。委員おっしゃいましたとおり、可燃物の4割が生ごみでございますので、生ごみを中心に、あるいはあとの2割がリサイクルできる紙類でございますので、生ごみとリサイクルできる紙を中心に、皆様のご協力を得ながら推進していきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、140ページ、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款労働費に入ります。1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款農林水産業費、1項1目農業委員会費について質疑はございませんか。143ページ、ありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 141ページ、270の農業委員会関係費のところなんですけれども、この前、9月議会ですか、農業委員さんの選出があったんですけども、女性の農業委員さんが少ないということで、男女共同参画の点からも、このルミナスでそういう講演があったりとかしたんですけども、太宰府の状況としては、女性の登用というところでは今どんなふうな動きがあるのかというのを少し教えていただけないでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 昨年4月の農業委員会の改選につきましても、女性農業委員さんをとということで随分地元のほうにも働きかけを行ったところでございます。9月の農業委員さんの選考につきましても、女性農業委員をとということもこちら働きかけをいたしましたけど、地元からの選出につきましては、なかなか女性のなり手がいないということで、男性になっております。今後も、引き続き女性農業委員につきましても、会長も女性農業委員をと強く言ってありますので、私どももそれについて、また一緒にな

って探していきたいというふうに考えておるところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、残りの2目、3目、4目、145ページの5目農地費まで質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） どなたかが審査資料を要求された10ページ、有害鳥獣の駆除ですね、イノシシはとれても食することができるけれども、やっぱりアライグマはそのまま殺処分されたんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） お見込みのとおりでございます。イノシシはかごに入った時点で、網に入った時点で死亡している例もございますけれども、アライグマについてはやはり破傷風とか持っています関係上、そのまま殺処分ということにさせていただいております。

以上でございます。

○委員（長谷川公成委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 私が資料は要求したんですけれども、その部分の関連というか、お伺いしたかったのは、アライグマの捕獲の動向が全国的にも増えているということが言われていますけれども、そのアライグマの危険性についての啓発というのも市民の方にきちんとしていく必要もあるんじゃないかと思うんですけれども、どうしてもアライグマというと、アニメのイメージとかもあって、優しいそういうイメージがあって、安易に近づいたりするとそういう凶暴性のあるところで今言われたような問題が出てくると思うんですけれども、そういった実際これだけ9頭の捕獲実績がある以上、何らかの啓発活動もしていく必要があるんじゃないかと思うんですけれども、その辺についてのご認識をお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 市のホームページにもアライグマ等に出会ったらということでの記載を行っておるところでございます。また、いろいろな活動、広報活動を通じて危険性とか、飼ったら捨てないということもあわせてきちんと伝えていきたいというふうに思っています。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 145ページ、270農業用施設整備費になるのかちょっとわかりませんけれども、新規に太宰府のほうで農業をやりたいと言われる方々の借地制度だったりとか、あと技

術指導とかというのは、JAさんと一緒にやられるのか、市として何か独自に施策があるのか、制度があるのか、そこのところを少し教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 新規就農のためには、今太宰府では最低4反の耕作地が必要となっております、なかなか新規就農者は出てきていないというのが実情でございます。太宰府市におきましては、新たに就農のための整備をしておきたいということで、今年予算を計上しておりますところでございます。当然おっしゃるとおり、JAとかいろいろな各種団体と一緒に進めていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今言われた就農支援の部分の予算というのはどこに入りますか。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 後ほど。

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、後でお願いします。

よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい、済みません。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 143ページの農業振興費、270の中で、前年度はたしか7節でこれ事務補助員が上がっていましたがけれども、今回これ外されていますけれども、その説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 午前中、経営企画課長が説明いたしました方が、私のところから経営企画課に移ったということで、その分でございます。

○委員（堺 剛委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 145ページ、270の13節委託料、工事設計監理等委託料ですが、この内容について説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） こちらの工事設計監理等委託料につきましては、今後、ため池の危険度調査を行う予定としておりまして、平成29年度においては、現在のところ候補として3池を予定しております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

済みません、じゃあ私のほうから。

ため池損害賠償保険料48万3,000円ですが、これ最大でどれぐらいの補償があるのか、説明してください。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） 補償額につきましては、今手元に資料がございませんので、後で報告させていただきます。申しわけありません。

○委員長（門田直樹委員） お願いします。

ほかにご覧いませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、144ページの下のほう、6款農林水産業費の2項林業費ですが、1目、2目、3目、147ページまでですけれども、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。148ページ、7款商工費に入ります。1項商工費、1目、2目、3目、まず3目まで、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4目観光費、ページがずっと行きます153ページまで、質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 151ページの観光事業費のところの負担金補助及び交付金で「DAZAIFU FES実行委員会（仮称）」に関してお伺いしたいと思いますけれども、これ審査資料も出していただいて、11ページに詳細なご説明も述べられていますけれども、まず食と音楽を融合させた事業として企画されているということですのでけれども、具体的にいつやるのかということまでは書いてありませんけれども、いつやるのかというのがまず1点と。

市のかかわる立場としては事業費の一部の補助をするという形でのかかわりにとどまるのか。

その点、2点答弁をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 「DAZAIFU FES実行委員会（仮称）」につきましては、開催時期については10月の初旬から10月いっぱいの中でということで今考えてあります。

市のかかわりでございますが、太宰府古都・みらい基金への積み立てということを主眼に考えてある事業でございます、それであれば市は実行委員会には加入できないのではなかろうかということで、まだ現在実行委員会に入るかどうか調整中でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 10月中に企画をされているということですが、そうなってくると、これは毎年こういうことをやっていこうというふうな流れになっているのか、平成29年度1回限りというふうに考えておられるのか、その辺はどういうふうになっています。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） これは企画を持ってこられたのは天満宮等でございますので、そちらの方向性もありましようけれども、今回成功すれば、今後、引き続きやっていきたいという意向をお持ちのようでございますので、私どももまた協議をしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 関連してご説明させていただきます。

この事業につきましては、もとをただせば、私ども経営企画課のほうにお話を持ち込まれたものでございまして、内容的に観光推進系のものではないかということで、そちらのほうの予算という形で計上させていただいております。

こちらにつきましては、主に市内の若手の事業者さんが個人で集まられて実行委員会形式で組織をして、そして日ごろ、高齢者の方は割と史跡地なんかは行かれることも多いんですけども、30代から50代ぐらいのいわゆる子育て世代の方が、史跡地あたりを散策はされますけれども、それがどういったものかという意味合いまでご存じない方が多いのではないかとということで、音楽とか食、簡単なバーみたいなものを通じまして、とりあえずそこに集まってもらって、そしてその魅力というものを知っていただくというのが1つ主眼としてございます。そういった中で、それぞれの方がその魅力を外に対して発信をしていただくというふうなことを目的にしております。この件につきましては、観世音寺さんのほうにはもう既にお話をされてあるようでして、比較的協力的なご返事をいただいているということで私どもは聞いております。

市の今ご質問の中にありました役割としてですけれども、市がその中に実行委員としてかわるのかどうかというのはまだ未定ですけれども、できるだけその個人さんたちの集まりの中でやっていきたいという意向は持ってあるようです。市のほうとしてはPRという意味を兼ねて、今回補助金50万円ということで用意をさせていただこうということで計上させていただいております。

今後につきましてはですけれども、私どもの考えとしてはずっと50万円を出し続けるということではなくて、一定やっぱり自立をしていただくのが本当かなというのもございます。

それともう一つ、古都・みらい基金の関係、先ほど観光推進担当部長が申し上げておりましたけれども、もし収益の中でそれが余るように、残るようなことになれば、その分は何かご寄

附をしたいというふうな申し出等までいただいております。そういったことまで含めて、大きな話にはなりませんけれども、まずはここから始めたいということでおっしゃってありましたので、どのような形になるかわかりませんが、市内の住民の方がこういったことで市を盛り上げたいということでしたので、今回計上させていただきました。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） ご丁寧な説明もいただきましたけれども、1点ひっかかりますのは、政庁まつりほど大規模ではないにしても、政庁まつりがもう少しコンパクトになったようなものなのかなというようなイメージも私は少し受けたりはしたんですけれども、そういったものが平成29年度は10月ということは、大体例年いつも政庁まつりをやっていた時期に何かこういうものを今度は、政庁まつりは平成29年度は休止という形になっていますけれども、そういったものをやられるという、何かそういった時期的な部分の整合性といいますか、若干そのところがひっかかるといいますか、そういうところなんですけれども、そういった点を要は市がもう少し発言といいますか、したいと言っておられる方に開催時期等まで含めて発言していただく必要もあるのではないかなというふうに思いますので、これはもう今後の課題として検討していただきたいということをお伝えしておきます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○副委員長（藤井雅之委員） 結構です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 151ページの観光事業推進費の報酬、国際観光政策専門委員でございますけれども、平成28年度のこの方の登庁日数と業務内容、どういふことをされたか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） この方の内容といたしましては、7月から雇用いたしておりまして、日報という形で毎日何をされたかということ記録しておりますけれども、市役所での調整を行うというのは大体毎週火曜日に定例的に会うようにいたしておるところでございます。

そのほかの内容といたしましては、まずは太宰府市を知っていただくということもありましたけれども、天満宮での協議であるとか、太宰府ブランド創造協議会の幹事会のオブザーバーとして出席をいただいたりしておるところでございます。

あとは、私どもとのメールでの情報の共有化ということも行っておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 大体何日ぐらいですかね、例えば月何日とか、その辺わかりますかね。

- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 数字はもう一度精査して、合計を出していなかったものですから、日報でしかなかったものですから、数字はまた後ほど出したいと思います。
- 委員長（門田直樹委員） いいですか。
陶山委員。
- 委員（陶山良尚委員） 前は国際観光政策専門員の方が、例えばシンポジウムを開きたいとかそういう話がありました。それも平成28年度にばたばた開くという話もございましたけれども、それも開かれてないということで、そういうシンポジウムとかはとりあえず平成29年度中に開かれるのかということと。
そのシンポジウムを開くとして、国際観光政策専門委員という方がかかわってしっかりやられているということか。その辺、今年度も含めてどういうことをされるのか明確じゃないんで、なかなか見えてこないんですね、その辺の状況がわかりましたら教えてください。
- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） この方の一番大事な仕事というのは、まず太宰府市観光推進基本計画の策定支援でございます。その策定が終わりましたら、シンポジウムへと移っていきたいというふうに考えておるところでございますが、来年度、国際交流という問題も入ってきます。国際感覚、韓国に非常にお強い方でもございますので、そういう人脈であるとか、語学を通じての幅広いサポートになろうかと思っております。
以上でございます。
- 委員長（門田直樹委員） いいですか。
ほかにございませんか。
有吉委員。
- 委員（有吉重幸委員） まず、291の観光事業推進費の委託費ですね。最後の行の観光客滞留時間等調査業務委託料とありますけれども、これは内容とどういった形で委託されるのか、教えてください。
- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 平成28年から行っている事業でございますが、今年は学生さんを活用しまして、学生による入り込み客数の聞き取り調査、外国の留学生も多くいらっしゃることから、どこの国から来られたのかとか、目的とか、行き場所とか、そういう調査も含めて行っておるところでございます。来年度も定期的な人数把握は必要と思いますので、同様の内容で調査をしてまいりたいというふうに思っているところでございます。
- 委員長（門田直樹委員） 有吉委員。

- 委員（有吉重幸委員） これはどのような場所で行われているのでしょうか。
- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 多くは太宰府駅、太宰府の駐車場、センター、人が集まりやすい場所で行っております。
- 以上です。
- 委員長（門田直樹委員） 有吉委員。
- 委員（有吉重幸委員） もう一件ありまして、続いて292の観光施設整備費でございますけれども、その工事請負費のWi-Fiの件ですけれども、Wi-Fi整備と書いてありますけれども、今後の整備はどのような形で何台ぐらい置かれる予定でしょうか。
- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 平成29年度は、大野城跡尾花地区に1カ所、文化ふれあい館、筑前国分寺跡、水城跡、東門の予定でございます。
- 以上でございます。
- 委員長（門田直樹委員） 有吉委員。
- 委員（有吉重幸委員） このWi-Fiですけれども、電波を1カ所立てると、大体100mぐらいですかね、という話を聞いたことがあるんですけども、大体何mぐらい使えるというか、使用できるのでしょうか。
- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） これは機器にもよります。電波状況にもよります。狭いところでは30mの円内に該当する場合もございますし、大宰府展示館、大宰府政庁に設置しておりますのは指向性がありますというか、30度、40度の角度では非常に強いということで、大宰府展示館からおおよそ反対側ですね、正殿のところまでは届くような機械を用意しております。
- 以上でございます。
- 委員長（門田直樹委員） いいですか。
- 木村委員。
- 委員（木村彰人委員） 関連しまして、Wi-Fiなんですけれども、かなり市内Wi-Fiポイントは増えてきたと思うんですけども、このWi-Fiポイントについてはマップ上に表示するとか、私もわかんないんですけども、もしくは現場のほうに使えますよという表示をするのか、そこら辺の周知というのはどういうふうになっているのでしょうか。
- 委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。
- 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） D a z a i f u _ C i t y _ W i - F i が使えるところにつきましては、特に私どもが整備したところには梅のマークのD a z a i f u _ C i t y _ W i - F i というシールを張って、D a z a i f u _ C i t y _ W i - F i が使えますよということは周知しておるところでございます。

まだ今年度整備完了はいたしておりません。終わり次第そのシールがわかるようにしていきたいというふうに考えておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 有吉委員の関連で、観光客滞留時間等調査業務委託料なんですけれども、平成28年度、570万円予算つけてあったと思うんですね、今年度216万円、この調査は施政方針でありました交通量の調査とかありましたね、あれとはまた全然別のものだというふうな考え方でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 交通量調査につきましては、建設経済部、都市計画のほうで行っている調査でございます、私どもはあくまでも観光客の実数をなるべく正確にとりたいというところからの調査でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 平成28年度と平成29年度の差額ですね、どういうふうに調査が変わるのかというのを教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 今年は大規模な予算をつけて、大がかりな分をやったんですけれども、基礎となる部分だけは毎年続けていきたいということで予算を平成29年度も計上したところでございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 2点あります。

まず1つは、151ページの観光プログラムの業務委託なんですけれども、これと滞留時間とは連動しての形になるのでしょうか。これは基本計画か何かの分の業務委託になるのでしょうか。このプログラム業務委託についての説明と。

あともう一つ、俳句短歌ポスト事業というのは、これはどこが運営をされているのかということ。普通に生活されている方は、短歌よりも川柳のほうがつくりやすいんじゃないかという声もあったんですけれども、これは俳句短歌ポスト事業のことについて何人ぐらい入れてあるか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） まず、最初のお尋ねの滞

留型観光プログラム業務委託料でございますけれども、ビジット・ジャパン地方連携事業ということで進めていきたいということで考えているところでございます。これは、観光客滞留時間等の調査業務委託料とはまた別な扱いをしております。

次に、俳句短歌ポスト事業でございますが、これは以前から短歌の会、俳句の会の方々が太宰府にぜひ投函できるポストがあったらいいということでもう十数年前から始まっている事業と思いますが、受け付けは大宰府館で集約等を行っているところでございます。

件数等につきましては、今現在数字を持ち合わせておりませんので、後ほどご報告したいと思っております。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。

太宰府駅にあるポストのあそこですね、すごくいいアイデアだと思うので、私もよくフェイスブックには載せるんですけども、もっと大々的にしたらいいかなと思っています。

滞留時間の調査のほうですね、太宰府駅とほかに何カ所か点在させる形でとは考えてらっしゃらないんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 数カ所、太宰府駅もしくは太宰府の駐車場ということを申し上げましたけれども、まだ水城まではエリアには入れておりませんでしたので、今後、またエリアに入れておきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 153ページの委託料の件で、13節自然歩道維持管理委託料というのはどのような、自然歩道の維持管理というか、どこに委託されて、どのようなことをされているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） 太宰府には九州自然歩道がございます。

こちらの整備、例えば今現在行っておりますけれども、宝満山の頂上付近の橋の修理であるとか、木橋の下の土が抜けた部分について補填をしていくとか、そういう九州自然歩道の関係業務でございます。

○委員長（門田直樹委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） これは逆に言うと史跡地の観世音寺あたりのそういう自然歩道というあそこは整備されていませんけれども、そういうのも含まれてくるわけですかね。

○委員長（門田直樹委員） 観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長（藤田 彰） それは歴史の散歩道のこ

とでございましょうか。太宰府には九州自然歩道が幾つかございますけれども、宝満、四王寺、大佐野まで含めた自然歩道の中の整備でございます。

○委員（船越隆之委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、154ページ、8款土木費に入ります。1項土木管理費、1目土木総務費、157ページまでですが、質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 157ページ、細目240道路施設等管理費なんですけれども、157ページの県道事業地元負担金なんです、これは具体的にどこの何に対する地元負担でしょうか、ご説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） お答えいたします。

こちらの県事業地元負担金につきましては、県道観世音寺二日市線の工事を今県のほうで行っていただいておりますけれども、今後の計画の中で景観整備事業という形でグレードアップを行う形のほうを県事業で行っていただく関係で、その分につきまして地元負担金として計上をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 場所がどこで質疑したらいいかわからない、教えていただきたいんですけども、団地の中に雨水がたまるでかい貯水池みたいなんがあるんですね。梅香苑四丁目とかにも2カ所、3カ所ぐらいあるんですけども、あれは今水が全くなくて、もう草がぼうぼうなんです。あれの中の土砂を排出してもらいたいというふうに多少要望があるんですね。あれはどこの項目かわからないんで今全体で聞いているんですけども、ここでよければそのまま、土砂の搬出とかはできそうな感じなんですかね、貯水池における。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） こちらのほう調整池のことだと思いますけれども、調整池のしゅんせつにつきましては、予算書155ページのほうの240道路施設等管理費の中の15節工事請負費、臨時工事の中で計上をするところでございますけれども、今回計上させていただいている箇所と整合性をとる必要がございますが、今後計上する場合は個々に計上していくことになります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 240道路施設等管理費の14節雨水排水管等借地料とありますが、こちらはどちらのほうでされてある事業でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） こちらの雨水排水管等借地料につきましては、J R九州のこちらが土居踏切から水城駅の間に1カ所、雨水の排水管が通っております。それから、西鉄太宰府線のほうに2カ所、こちらのほうも雨水の排水管が通っておりますので、そのこの用地の借地料として支払いをしているものでございます。

以上でございます。

○委員（有吉重幸委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、156ページ、2項道路橋梁費、1目、2目、3目の161ページまで、2項について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 157ページ、細目240道路橋梁維持補修費なんですけれども、11節の修繕料、こちらのほうが1,700万円上がっていますが、平成27年度は当初1,700万円、12月補正で500万円を追加計上してありますけれども、この1,700万円で大丈夫でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） 現在、平成28年度補正をさせていただいたところでございますが、修繕等日々動いていきますので、まず当初で昨年並み1,700万円を計上させていただきまして、今後、その執行状況を見させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 159ページ、交通安全施設整備費のところですか。19節、防犯灯電気使用料補助金の関係です。これは、今防犯灯がほとんどもうLEDになっていっているたいね。そういう部分で金額がちょっと変わってない、ずうっと1,800万円やと思うんですね。だから、LEDを入れるのになかなか入れられない。だから、暗くなるんですね。そういうことで、もう少しこれ増額を検討してもらいたいと思っております。課長、お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） こちらのほう、少しずつではございますけれども、LED化が進んでおるところですが、市のほうからの補助という部分がなかなか今ご指摘のとおり予算化ができていなくて、進んでいないところでございますけれども、今後、その進捗のほうを進めたいと思っておりますので、こちらのほうで予算要求等をまた考えていきたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員（上 疆委員） よろしくをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 159ページ、15節工事請負費、道路改良工事費なんですけれども、今回は6,000万円上がってきていますけれども、当初予算の説明資料の中でも、市民と語る会の中でも要望の多かった側溝のふたについて計画的にやっていくということを述べてらっしゃいます。しかしながら、平成28年度は結構1億4,600万円ほど当初予算が多くありまして、今回はかなり減額したところで、なおかつ説明資料のほうではふたがけを計画的にやっていくと。市民と語る会でも、ふたがけだけでなく、各自治会からいろいろな市営土木への要望がある中で、予算が減っていて、なおかつもう既にふたがけをやっていくと宣言されるということは、ほかの区の市営土木がえらい少なくなるんじゃないかなと非常に心配なんですけれども、こちらのほうはどうでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） こちらの道路改良工事でございますけれども、平成28年度当初予算におきましては、市営土木のほかに今現在工事を進めております泉水1号線の道路改良工事が6,600万円、それから青山の陥没の補修で3,000万円の部分が計上されておりましたので、平成28年度当初においては1億4,600万円の計上をさせていただいております。それで、差し引きをしますと、平成28年度当初、市営土木の予算につきましては5,000万円ございました。その5,000万円のうち1,000万円から1,500万円が大体側溝の改良要望という形になっておりまして、今年度、その部分に1,000万円を追加しまして、道路側溝改良につきましてはおおよそ2,000万円から2,500万円ですので、道路側溝以外の部分について、今まで市営土木であった部分については変動はないというふうに考えております。

また、今後、今年度一般質問のほうでもご回答申し上げましたけれども、上半期で今後の計画をしっかりと立てさせていただいて、今後の部分について側溝整備を進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいでしょうか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 市役所前の県道で観世音寺から関屋のほうに向かってですけれども、道路脇の樹木の根っこが張り出してきて、歩道のブロックが浮き上がっているところがすごく増えてきているんですね。歩行者の方がつまずいたら危ないとか、あと自転車の方も危険だと、怖いというようなお話を聞いているんですけれども、その部分は何か計画とか、進捗はありますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） 今おっしゃってあるのが県道筑紫野太宰府線だと思うんですけれども、県那珂県土事務所のほうにおきまして、今関屋の交差点のほうから少しずつ歩道等の整備を行っていただいているところなんですけれども、その先の部分についてはまだ情報の収集ができておりませんで、そういったことがあるということも含めまして、情報収集等含めて要望のほうも

行ってまいりたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 161ページ、241の渋滞対策費、地域交通網形成計画策定委託料1,491万円、結構高額ですが、主にどういったことを委託されるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） この調査につきましては、今渋滞が激しくなっております市内の幹線道路を中心としまして、まず交通量調査をさせていただきます。それに基づいて交通網をいろいろ考えさせていただいて、将来的に市内の交通がスムーズになるような交通網の計画を最終的に立てさせていただくということになります。

調査の中身につきましては、交通量調査、それと実態調査、いろいろなアンケート調査も含めまして実態調査をさせていただきます。

それと、国のパーソントリップ調査でありますとか、交通センサスとかのデータを使用して、それをこれに反映させていただくとか、あとは都市計画マスタープランが今度策定されますけれども、それをいろいろ利用させていただいて、最終的に2年かけてこの計画を立てさせていただくという形になります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 内容はわかりました。

ということは、2年かけてやるということはこの予算は2年分ということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） これは債務負担行為でも立てさせていただいているんですけれども、これは1年分の予算でございます。平成30年度の予算につきましては923万4,000円、2カ年合計で2,414万9,000円の予算でさせていただく予定でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（長谷川公成委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今のに関連しまして、国、県もそうなんですけれども、近隣市とも連携した計画が必要だということだと思います。一般質問でもお話を伺ったところなんですけれども、この交通網という形では筑紫野市、大野城市、そこら辺もしっかり入れたところで、前回話しましたとおり、春日・大野城のハイタウン構想みたいな形の広い計画でやらないと非常に意味がないのかなと思いますけれども、そういう形になるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 今計画をさせていただいているのは市内の部分だけで考えておりますけれども、やはり今から先、広い範囲で福岡都市圏のところで考えていかないといけなくなります。別に計画をさせていただきます立地適正化計画もそうなんですけれども、広範囲にわたっていろいろな公共施設でありますとか、道路についても連携しながらやらないといけなくと思っていますので、最終的には近隣の市と連携した計画にはなりませんけれども、お話をさせていただいて、それを取り入れていくような形で計画を立てさせていただこうとは思っています。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。8款3項河川費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4項都市計画費、1目、2目、3目が167ページまで、4項について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 1目、161ページの木造戸建ての住宅耐震改修についてですけれども、これは平成28年度に関しては2回補正予算もされるような内容だったと思いますけれども、平成29年度に至っては当初どおりということだったですけれども、過去に平成28年度は補正を2回組まれた部分の考えは、今回平成29年度には反映されていないのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 平成28年度につきましては、やはり熊本地震の影響からかなり申し出がありました。2月ぐらいを迎えるに当たって、かなり申し出も少なくなってきましたので、来年度につきましては当初予算の規模で行っても大丈夫じゃないかなということでこの予算を立てさせていただいております。

ただ、今回、平成28年度までは60万円の限度額でございましたけれども、平成29年度につきましては、県の補助がなくなりますので、県の補助がなくなった分、上限額が30万円ということで半額になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 状況によってはまた平成29年度も補正をする可能性はあると思っております。よろしいですか、申し込みの状況によっては。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 申し込みの状況によっては補正をさせていただくつもりでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進んでいいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 163ページの19節、町並み整備助成事業の補助金は、これはどこに使われる予定だったのでしょうか。済みません、私が聞き漏らしていたかもしれません。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 町並み事業助成事業補助金でございますけれども、2,320万円でございます。これは、場所は未定でございますけれども、歴史的風致形成建造物の保存修理事業に2件。

それと、天満宮門前六町まちづくり協議会というのがございます。その活動に対する助成をさせていただきます。

それと、どんかん道とか参詣道、日田街道といった歴史を有する骨格的な動線沿いの住宅でありますとか、店舗の緑化修景に対して、その費用の一部を補助するもの。それと、参道沿いにありますけれども、参道のひさしの修景に対して補助をさせていただきます。

この4件が町並み事業助成事業補助金になります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 同じく163ページですけれども、都市計画事務費で空き家対策で専門員がいらっしゃるということでございますけれども、こちら何名でどのような形でやってあるでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 空き家対策専門員につきましては1名です。週3日の嘱託勤務の職員がおります。この職員につきましては、今庁内に空き家対策会議がございますので、その庁内会議の運営でありますとか、窓口の苦情でありますとか、問い合わせとか、相談に対する対応、それと今後策定する予定にしております空き家対策計画の検討等の業務を行っていただくようにしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 163ページ、221の094旅費、特別旅費の内容について教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 特別旅費につきましては、今ひさしの修景の建築基準法上の協議を国と行っております。その国に対する国土交通省との協議、本省に行く協議が2回ほど、それと歴史的景観都市協議会というのが全国で組織されております、それが今年、代表幹事都市で会計のほうをさせていただきます。来年度につきましては、その総会において会計報告を

させていただかないといけませんので、山形県の鶴岡市まで行く旅費として1名分計上させていただきます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 15節の工事請負費の関連事業の内容と、あと17節の公有財産購入費、用地購入費、場所を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） まちづくり事業関連工事費は、四王寺山の環境保全修理事業ですね、蔵司周辺の樹木の伐採でありますとか、これも歴史的動線沿いというか、日田街道とか沿いのサインの整備事業の工事費になります。

歴史まちづくり関係用地費購入費でございますけれども、これは政庁前駐車場、一部購入ができていない部分でございます。その部分の用地取得費でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい、いいです。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 165ページになるんですけども、230都市計画事務費の中の立地適正化計画策定業務委託料、これの策定期間と、この金額が1,100万円ぐらい示されていますが、今後これが増えることがないのか、その内容についてお示してください。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 立地適正化計画の策定期間でございますけれども、平成29年度、平成30年度の2カ年を予定しております。これも債務負担行為で計上させていただいておりますけれども、平成30年度1,350万円、2カ年合計で2,462万4,000円計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

村山委員。

○委員（村山弘行委員） 適正化価格の具体的な中身、用途地域の変更とかなんとかというのの少し中身を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 立地適正化計画につきましては、本市の都市計画区域の地域特性等をいろいろ調査させていただいて、例えば土地利用の状況でありますとか、交通体系、都市施設の状況でありますとかを地域ごとに詳しく調査させていただきます。それに基づきまして、

例えば居住に適した地域でありますとか、公共施設とか、医療施設とか、福祉施設などを集積したほうが良い地域、それとか土砂災害の危険があるんで、ここは居住に適さない地域ということで住みかえをしたほうが良い地域というふうな種類分けをさせていただいた上で、今後のそれぞれの地域に誘導を行っていくような考え方で策定する計画でございます。

都市計画というのは、私権、例えば財産権などを制限しながら、土地利用規制等を行いながら、長い年月をかけて緩やかにまちづくりを進めていく制度でございます。近い将来、人口減少社会に備えまして、財政面でありますとか経済面で持続可能な都市づくりのためには、これまでの土地利用規制での都市をコントロールするだけではなくて、都市の住民や企業の活動等に着眼して、質の向上を図る必要がありますので、このような計画に基づいてこれからまちづくりを行っていくという計画でございます。

国とか県は、今後、この人口減少社会の到来を見据えまして、本計画の策定を強く推進しております。このため、都市計画区域の線引きとかの見直しとか、用途地域の変更、例えば市街化調整区域から市街化区域の編入など、都市計画の変更の際にはこの計画の策定が必須となっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

村山委員。

○委員（村山弘行委員） ようわからんやっただけけれども、ずうっと言いんしゃあけん。用途地域の変更はちょっと出たけれども、具体的にはどの辺か、計画案みたいなものはあるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 例えば五条周辺、今五条周辺が一部近隣商業地域、一部が住居地域というふうな形になっています。あそこが本来ならば太宰府市の拠点になるべく、商業を集積した地域になってほしいということもございますので、あのあたりの例えば用途地域の変更、それと西鉄二日市周辺、あの辺が客観跡を含めて、西鉄も当初はあそこは客観跡がなければあそこに商業施設を建てたいということがございましたけれども、今客観跡があって、なかなかそういうふうにはなりませんけれども、東口周辺につきましては、あの辺を商業地域にして何とかいろいろなそういう活動につなげていきたいということもございますので、あの辺の商業地域への変更でありますとか、それと都市計画マスタープラン、それと総合計画にもうたっておりますけれども、佐野東地区のまちづくり、あそこは調整区域でございますので、例えばそこを市街化区域に編入するということになればまた変更の必要が出てくるということになります。

それと、高雄地区ですね、高雄のあの調整区域、市街化区域に挟まれた調整区域がありますけれども、あそこもまちづくりの動きも少しございますので、それに合わせた地域の変更でありますとか、そういうことで予定を幾つか考えておるものでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 村山委員。

○委員（村山弘行委員） 用途地域の変更等、それは適正化の策定作業としては当然やっていかなきゃいかんと思うけれども、平成28年度の当初予算の中で、今少し課長から出たように佐野東のまちづくりの調査委託料が400万円計上されていたと思うんですね。調査が終わったから消えたのか、計上が全くされていない。それとこれと何か関係があるのかどうなのか。委員長から、冒頭、今日指摘があったので、一般質問は一般質問並みの話をしなきゃいかんということだから、極力質問だけにはしておこうと思います。あさってまた特別委員会がありますから、詳細はそこでまた聞こうと思いますけれども、関連があるかないかぐらい。

○委員長（門田直樹委員） 建設経済部長。

○建設経済部長（井浦真須己） 私のほうから回答させていただきます。

今うちの木村課長のほうからお話ししましたように、区画整理や駅周辺の再開発をするためには、必ずこの立地適正化計画を立てねばならないということがございます。ですから、私どもとしては今木村課長が言いましたように区画整理、市街地再開発、そういうことも将来の太宰府市を見据えながら、まずこの計画を作成させていただきたいという思いで今回予算を計上させていただいている。

それと、もう一方あわせて、一般質問のご回答でもさせていただきましたけれども、佐野東のまちづくりの調査をさせていただいた分につきましては、その調査をもとに、図面とか、あと数字的な減歩とか、あと施工面積等々も、仮というか、調査の中では出てはいますが、それをどういう形で進めていくのかということをまずは内部で、部長会議、経営会議、それとあと先ほど村山委員のほうからも言っていただきましたように特別委員会等々に諮りながら、もう一つは地権者にどうやって説明をして、地域のやる気というか、そういう思いを掘り起こすかということ、平成29年度については私どもが調査をもとに何ができるのかということのをずっと考えていきたいなというふうには思っているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 村山委員。

○委員（村山弘行委員） 予算委員会やから、見合った話をしとかないかんと思う、適正化、用途地域の見直しは、一般的にはそういうのが、今後区画整理をしようだろうが、市街化区域に調整区域がちょっと残った場合については見直しをするだとか、そういう地域の市街化区域のために調整区域を見直したら、一般の土地はいいと思うけれども、佐野東について同じように扱うという質のものではないというふうに思いますが、これ以上一般質問的になりますし、特別委員会がありますから、具体的にはそこで聞きたい思います。それだけ述べておきたいと思います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 回答はよろしいですね。

よろしいですか。

進みます。5項住宅費について質疑はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 建設課長。

○建設課長(山口辰男) 先ほど調べてご回答申し上げますと申し上げましたため池損害保険のほうについて、今答弁させていただいてよろしいでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) どうぞ。

○建設課長(山口辰男) 予算書145ページになりますけれども、農業用施設整備費の中のため池損害賠償保険の補償内容につきましては、こちら1名、対人が2億円、1事故3億円、対物につきましては1事故1,000万円という賠償の内容となっております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) ありがとうございます。

ここで、14時25分まで休憩します。

休憩 午後2時12分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時25分

○委員長(門田直樹委員) 再開します。

観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長併農業委員会事務局長(藤田 彰) 先ほどの回答につきまして補足説明させていただきます。

新規就農対策事業でございますが、今現在は筑紫地区農業振興協議会、こちらのほうで新規就農者に対しては活動しているところでございます。先ほど申し上げましたように、JAとか各種事業体、県とJA、4市1町で設立しましたこの振興協議会の中で協議をしているところでございます。

また、新規就農につきましては、JAが主催します農業塾、こちらとも連携をしておるところでございます。

また、先ほど新規事業と申しましたけれども、遊休農地活性化事業ということで今進めていきたいということで、今現在、計画を決裁中の時点でございましたので、また予算化はいたしておりませんので、そこは修正させていただきます。

次に、短歌俳句のポストの件でございますが、平成27年度事業におきまして、短歌ポストは281件の応募がっております。俳句につきましては、85件の応募がっており、年4回、短歌の会、俳句の会によります入選作品等が示されているところでございます。

次に、専門官の協議でございますが、12月まででございますが、専門官が市に来られたのは毎週1回は来てあります。その他、地域の方とお話を伺ったり、各事業所の方とお話を伺ったり、筑紫女学園大学、筑紫野市、九国博、日経大、天満宮等に太宰府の実情ということをお尋

ねにいつてあります。その他としましては、私どもとの連絡調整、こういうことで毎日来て、日報の中にはそのような形で上がっているところがございます。

最後ですけれども、滞留型の調査でございますけれども、今現在実施しておりますのもやはり6カ所で実施しております、天満宮も含めて、竈門神社、観世音寺、水城まで調査範囲を広げてやっておるということでございます。来年度も同様のエリアでアンケートをとっていきたいというふうに考えておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですね。

9款消防費に入ります。1項消防費、1目、2目、3目、173ページまで、9款について質疑はございませんか。

有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 070消防団関係費の中でございますけれども、08報償費の消防団員の退職報償金と、次の下にあります19節退職報償金負担金と2つ退職関係ありますけれども、この違いを教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（齋藤実貴男） まず、08の報償費、消防団退職報償金につきましてご説明申し上げます。

この退職報償金につきましては、一定期間、消防団員に従事されておる方につきまして退職金の支払いが必要になりますので、その退職金を予算化しております。一応算出根拠につきましては、部長及び班長、10年以上15年未満、28万3,000円になります。それを20名ということで計上させていただいておりますが、この退職報償金につきましては、年ごとの退職状況、例えば30年消防団に勤務された方とかいろいろ、また10年未満の方とかもいらっしゃいますので、この金額を計上させてもらっております。

それと、19節の退職報償金負担金につきましては10分の10、退職すると、これは県のほうの退職組合があります。そこのほうに負担金ということで、これは団員1名当たり1万9,200円掛ける、定員が250名になっておりますので、その分の負担金を負担しております。それに基づきまして、退職時に報償金ということでその機関から交付を受けるというふうになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 171ページ、070災害対策関係費の中の委託料、防災ハザードマップ作成業務委託料なんですけれども、こちらのほうが定時の改定なのか、冊子型になるということですから、今回内容的に工夫されるところがあるのか、お聞きします。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（齋藤実貴男） 防災ハザードマップにつきましては、これ前回平成26年6月に作成しております。その間、やはり土砂災害警戒区域等のエリア拡大とか、地震関係あたり、熊本地震等も発生しておりますので、内容の充実とかも必要だろうということで、平成29年度予算化しております。中身につきましては、検討中なんですけれども、冊子形式で交付をしたいと、作成したいということで考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 171ページの14節災害情報配信システムの使用料が上がっていますが、今登録人数は何人ぐらいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（齋藤実貴男） 今現在、市民登録数が442名になっております。これはもう昨日現在です。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（小島真由美委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

有吉委員。

○委員（有吉重幸委員） 171ページですけれども、防災対策関係費の07防災専門官とこちらにあります。これはどのような方でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（齋藤実貴男） 防災専門官につきましては、実際に防災の知識、現在自衛隊のOBの方に週5日で勤務していただいております。日常業務としましては、各自治会等、それとか出前講座につきましては講師、また今回BCPに取り組んでおりますので、その関係の内容の取りまとめとか、助言とかをいただいております。ですので、防災関係のいろいろな経験に基づきまして助言をいただいている状況です。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 例えばこの防災専門官であるとか、傷害保険料の種類はとか、一つ一つ語彙を全部確認していったらなかなか先に進まん面があって、例えば防災専門官に関しては、今までの会議録を見たら全部説明はされていますよね。だから、そういうのをざっと見て、わからん部分を見る等をやっていただくと、審議がスムーズにいくので、お願いします。

よろしいですか、進んで。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 172ページ、10款教育費に入ります。1項教育総務費、1目、まず教

育委員会費について質疑はございませんか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、同じページ、2目事務局費、177ページ、2目について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 175ページ、150学校教育運営費、07賃金の特別支援教育支援専門員、予算が前年に比べて300万円プラスになっているんですけども、平成29年度の予定人数を教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 学校教育課長。

○学校教育課長(森木清二) 特別支援教育支援専門員の人数でございますけれども、平成29年度、支援員のほうが35名、それから専門員は1名の予定で予算を組ませていただいております。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

○委員(神武 綾委員) はい。

○委員長(門田直樹委員) ほかにございませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) どこで聞いたらいいかわからないんで、学校教育運営費の中にICTの費用とかが、これ特別支援学級とか、通級とかで電子教科書の導入とかはまだ考えていないでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 学校教育課長。

○学校教育課長(森木清二) ICT教育につきましては、現在、太宰府東小学校のほうで平成27年度から3カ年にわたって、今試行ということで行っておりますけれども、委員が言われますような教育については、今のところまだ考えておりません。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 2目なんで、177ページ、160太宰府市文化スポーツ振興財団関係費で昨年と同じような予算ですが、今年度もスポーツコーディネーターという人を雇う計画はありますか。

○委員長(門田直樹委員) 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長(木村幸代志) 新年度も雇用の予定でございます。

○委員長(門田直樹委員) 長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 昨年度もじゃあどういったことをされたか、企画されたのか、どうい

った事業にかかわったのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 通常の一般の事務的な業務と、あと事業とかで、財団のほうで史跡のまちのラジオ体操、史跡のまちのスポーツ体操、こういった事業に取り組んでおります。そういった事業の担当として活動してあります。以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ラジオ体操やったら、別にスポーツコーディネーターじゃなくても誰でもできそうな気がするんですけども、スポーツ推進員だっておるわけです。改めてここで人を雇ってスポーツコーディネーターという名前の人を雇うというのはどうかと思います。例えば、オリンピックのメダリストを、2名いらっしゃいますが、そういった方になってもらって、少年スポーツ団あたりの加盟チームに指導に行くとか、ほかの派遣事業に行くとかというのならわかりますけれども、ラジオ体操ぐらいでこういった名前をつけて予算をつけるというのは何かおかしくて、私の考えの中では全く認められないんですよね。じゃあ、これ予算が通った後、何か新規事業をするとか、そういったことを考えられていますか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 平成29年度で今のところ、新規というのは特に予定はございません。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） そしたら、スポーツコーディネーターとかという名前は要らないじゃないですか、事務なら。こういった方が中心になって市民のスポーツ事業を牽引していくとかそういったことならわかりますけれども、何でこういったスポーツコーディネーターという名前がつくのか不思議でたまらないです。あとはいいです。

○委員長（門田直樹委員） 回答は。

○委員（長谷川公成委員） いいです。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 175ページ、040の若年者専修学校等技能習得費というのがあります。予算が94万6,000円上がっているんですけども、決算では0ということに恐らくなっていたと思うんです、平成27年度。これは利用されている方はここ四、五年いらっしゃるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） ここ四、五年借りられている方はいらっしゃらなくて、昨年9月で返還されている方ももう全て終了されているという形になっています。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） ということは、ここ二、三年はいらっしゃらないということですかね。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） はい、そうです。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） この制度はもともと地域対策費の中にあつたものが一般施策になったというふうに理解しているんですけども、そうすると一般の子どもたちに対して広報がもう少しあれば、利用される子どもたちもいるんじゃないかというふうに思うんですけども、その点は何か工夫はされているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） 今神武委員が言われましたように、一般対策として平成14年度からしておりまして、今現在は2月1日号の広報でその制度についての説明、それと募集期間等々で掲載して広報しているところです。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） これ財源が、歳入の43ページ、県の補助金でもう県が丸々負担する10分の10になっていますので、市の負担がなくて貸し付けができることになっていますので、もう少しPRを学校に向けてもしていただければ助かる子がいるんじゃないかなと思いますので、お願いしたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 177ページの細目151の不登校対策費、これに力を入れようというあらわれだろうと思うんですが、適応指導教室指導員、それから不登校対応専任教員、それぞれ何名いらっしゃるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 適応指導教室の指導員につきましては、今います指導員にプラス1名の予定でございます。

それから、不登校対応専任教員につきましては、各中学校に1名配置しておりまして、この人数は今までどおり4名でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3目人権教育費、176ページから179ページまでですが、質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 177ページの南児童館指導事業関係費の中から続きますけれども、179ページの21の貸付金のところで、先ほどと関連するところですがけれども、入学支度金、それから奨学金、これについても利用されている方が決算では出てきていないようなことになっているんですけれども、ここ3年ぐらいはどういった状況なのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） 結論からいいますと、ここ3年借りる方はいらっしゃいません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですね。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次、4目特別支援教育費、178、181ページまでの5目幼稚園費までについて質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 181ページ、5目幼稚園費ですがけれども、審査資料の12ページのほうに各市立幼稚園の定員と園児数を過去3年間で出していただいています。見てみますと、市内全体の保育園の定員数が1,270人で推移しているんですけれども、実際の園児数が1,000人程度ということで、200人ちょっとぐらいまだ入れるような状況に数字的にはなっている状態です。今回の施政方針、予算でも小規模な保育所、0歳、1歳、2歳を拡充するということになっていきますけれども、その子たちが3歳になって幼稚園に入るときにスムーズに入れるように、この幼稚園との話し合いですかね、というところは実際にもうされているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 現在、年に1回の会議を開いているところですが、今後、その会議をもうちょっと数を増やしていきたいとは考えているところでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の待機児数がもう0歳、1歳、2歳で8割ぐらいの人数というふうに資料をいただきましたので、その子たちがもう保育園を利用できないのであれば幼稚園のほうに受け皿としてスムーズにいけるように早目に対策を、園長先生とも話を進めていただいていたほしいなという要望です。

○委員長（門田直樹委員） 要望ですね。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2項小学校費、180ページから187ページまでですね、2目教育振興費も含めまして、2項小学校費について質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、186ページ、3項中学校費に入ります。1目学校管理費、そして190、191ページの2目教育振興費まで含めて、3項中学校費について質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） トイレの件なんですけれども、所管調査に行ったときに、太宰府中学校のトイレも非常にきれいになっていて感心したんですよ。男子トイレに大きな鏡がついていて、それはいいんですけれども、大きな鏡はいいけれども、それに小便しよる姿が鏡に反射して外から丸見えだというふうに聞いたんです。ですから、女子は何か余り気分がよくない。ですから、カーテンじゃないけれども、のれんみたいなのが何かできんのかなと思ったんですけれども、あけてある理由というのがあるんですか。例えばトイレでいじめがあるとか、密室になるからそういったのがあるのかなとも思うんですけれども、中が丸見えになるというのはどうかなというのがあるんで、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） どの中学校も扉がついていない状態になっておると思っています。生徒の管理上の問題だと思います、閉め切ると中にどういう状態かわからないんで。ただ、開放について、そういう問題もあるということでしたら、その手だてだけでは何かしら今後検討していかないかとは思いますが、扉をつけるということじゃなくてですね、よろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（長谷川公成委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 191ページ、2目の教育振興費、150の要・準要保護生徒関係費のところなんですけれども、これについては就学援助ということで、新入学生の支給品を年度内に行うということで、今年度末、3月末に支給するという回答があっていたんですけれども、実際には4月5日に支給になるというふうに聞いています。平成29年度以降、年度内、業者さんに聞いたんですけれども、実際に販売日が3月3日なんです、お金と交換して引き取るのが3月3

日なんですけれども、その日に支払えなくて、学校で交換なんですけれども、学校で支払いで受け取れなくて、お店のほうに来ていただいて後日、1カ月ぐらいたってから受け取りに来るという方がやっぱりいらっしゃるそうなんです。以前には、もう入学式の当日、朝払いに来て、そのまま着ていったという子もいたというふうに聞いていますので、前倒しでするのであれば、3月3日、学校での販売日前に支給できるようにしていただきたいんですけれども、その点は検討はできますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 就学援助の3月中の支給ということで課内でも検討いたしまして、今年度につきましては4月5日ということで支給を決定させていただいたわけですが、保護者の方の申込期間というのがやはり問題になりまして、期間が短くなれば、そういった3月中の支給ということも可能にはなるかと思いますが、現在のところ、申請をされる方の申請期間をある程度長くいたしまして、それから事務を進めてまいりますので、どうしても4月という形になっておりますが、委員が言われるみたいに3月中にどうしても必要ということであれば、今後検討していきたいと思っております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、190ページ、4項社会教育費、1目社会教育総務費、195ページまでですが、1目について質疑はありますか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 193ページ、131のいきいき情報センターの関係ですが、工事請負費が昨年も換気扇空調設備の整備などされておりましたが、本年度は施設改修工事を上げておりますが、内容は何でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 今回、平成29年度で上げております分は、1階の保健センター部分の空調改修工事を予定しております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（上 疆委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 195ページ、文化芸術振興費なんですけれども、19節の文化協会補助金、これが80万円になっていますけれども、去年がたしか力を入れるということで50万円だったのが100万円、今年度は80万円、毎年これだけ補助金額が変わるとというのがよくわからない

ので、説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 平成28年度、50万円から100万円というふうに上げさせていただいておりますが、平成28年度、今年度につきましては、昨年9月に開きましたけれども、事務室とかの開所とかもありまして、そういった部分も特別経費のかかるような分もございまして、平成29年度以降は余り上がったり下がったりというもおかしな話ですけども、このくらい今年度上がっている額が基準になるのかなと考えております。

○委員長（門田直樹委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 毎年これだけ変わるといのが理解できないんで、文化協会の方とお話を聞いて決定されているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） その辺は大体新年度、来年度はこういった事業があるとか、いろいろ情報交換はした上で決定しております。

○委員長（門田直樹委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 今後の方向性としては80万円ていくということですか。来年はまた50万円になるとか、100万円になるとか、あるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 担当課としては下げるといことは考えておりませんが、大体この80万円というのがベースでいいんじゃないかと考えておるところです。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

1点だけ確認。体協とかほかにもかかわるんだけど、周年事業への手当てはしないといのを随分以前に聞いた記憶があるんですよ。それは生きているのかな。それとも、やっぱり周年のときには少し多目に出してあげているのですかね。どなたでも、経営企画でも。

地域健康部長。

○地域健康部長（友田 浩） 周年事業につきましては、体育協会につきましては、今年がスポーツ少年団の30周年ということで、その分のそれに相当する補助金はプラスしておりますので、そういうことで周年事業に関しての補助はいたしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。

ほかよろしいでしょうか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 195ページの文化芸術振興費の19節で筑後川の実行委員会の補助金ということが100万円上がっていますけれども、これ実際どのような、実行委員会のメンバーとい

うのは役所の人だけですかね。内容説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 実行委員のメンバーとしましては、当然市と商工会、観光協会、それからこういう音楽、合唱関係の団体が何団体か、今のところ、加盟しております。そういった、市で大きなイベントをやるときに大体実行委員会に名を連ねていただいております商工会さんとか、観光協会さんとか、あと音楽の分野の団体に組織しておるような状況です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 実際はこの実行委員会の動きというのはほとんど商工会の聞いたことはないんだけど、実際に月に1回とか何かされよるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 実行委員会としましては、昨年、太宰府でやりますということで、10月に最初の立ち上げの実行委員会を開催しまして、その際に2回目に実行委員会は年度が変わりまして、予算が市からの補助金等も確定しまして、そういった予算の配分とかもありますので、4月下旬から5月に行いますと、それ以降は本番が10月ですので、随時必要に応じて開催させていただきますということでご説明しております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） この筑後川の音楽祭か何か知らないけれども、これは今回限りということですかね。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） そうですね、1回限りになるかと思いますが、太宰府で開催するのは。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今の筑後川に関してちょっと気になったのでお尋ねしたいんですけども、たしかプラム・カルコアが会場でしたね。市が実行委員会に入っているような催しのときというのは、プラム・カルコアの使用料であるとか、そういうものの扱いはどういうふうになるんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 市が主催、共催という部分については免除になります。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 主催、共催の場合は免除になって、後援その他の場合は特にそういうことは無いというふうに考えておけばよろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 後援でも、内容によるんですけども、実質的な後援とかになりますと半額減免ですかね、減免制度はございません。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、主催、共催の場合以外は、関与の仕方であるとか、内容次第で多少扱いが変わってくるというふうに理解しておけばよろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） それと、あと直接市の主催ではないですけども、市の例えば小・中学校とかが学校行事で使うものについては、またそれも無料というふうな扱いをしております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目青少年教育費、197ページまで、2目についてございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 197ページ、142の子どもの遊び場事業費なんですけれども、アンビシャス広場のほうにずっと助成金を出されて、活発に活動もされているところはあるんですけども、この遊び場の事業としては何か新しく計画があるとか、今、庁舎内でこういう話があるとか、あればお聞かせ願いたいと思うんですけども。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） アンビシャスの件ですけども、今年2月なんですけれども、県のアンビシャスと共同で、今まで太宰府市だけでしておりました折り紙飛行機大会、それを県内のアンビシャスの団体さんをお招きして、そういった形で県と一緒にやっていくということで、ただアンビシャスにつきましては、今のところ、団体さんが市内で4カ所だけということになっておりますので、私どももどういうふうにそこいらをやっていくか、今後の検討課題として今のところ持っている次第です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 197ページの143の青少年教育団体支援費、その中の19節太宰府少年の船協会補助金90万円ということで上がっていますけれども、昨年から比べると60万円ぐらい減額になっているのかなというふうに思いますが、その内容を確認しておきたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（中山和彦） 先ほど委員長も言われました周年事業ですね、昨年度は周年事業ということで、韓国の扶餘郡と交流を持たせていただいたということで、そのときは金額がその分増やした形で、90万円というのが周年じゃない事業費になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進んでいいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3目青少年対策費、4目図書館費まで、199ページまでですが、質疑はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、198ページの5目公民館費、201ページまでですが、5目について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 199ページ、細目130中央公民館管理運営費の15節工事請負費、施設改修工事費なんですけれども、あわせて審査資料のほうは13ページです。こちらのほう、今年3億3,975万円上がってきていますけれども、平成30年以降も結構大きな金額が上がっております。これあわせて審査資料について詳しいご説明をいただきたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 審査資料の13ページについてご説明させていただきます。

平成29年度3億3,975万円というのは、ここの下の説明書きに書いてありますが、1つは舞台設備改修の2期工事ということで、この平成28年度の6,975万円と平成29年度と同額合わせました額で、市民ホールの中の舞台の設備関係、天井からのつり物とか、それから照明器具関係、それから音響施設、そういったもろもろの改修を行うようにしております。

それと、平成29年度12月に補正で上げさせていただきましたが、空調の改修、本来は平成30年度以降で予定しておりましたが、空調もかなり傷みがひどいということで、繰り上げて工事をさせていただくようにしております。これは全館、ホール内の空調だけでなく、あと2階から4階にありますそれぞれの部屋の空調と図書館も含めまして改修工事を予定しております。

そして、あと残りの平成30年度以降ということで、下に括弧書きで書いておりますが、建築

工事、電気設備工事、給排水工事、建築工事、外観とかそういったもろもろですね、電気設備工事、給排水、トイレ水回り関係ですね、これもかなり傷みがひどくなつとる分があるんですが、そういったもろもろの工事を合わせまして、今のところ合計で13億円という数字を出させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） これも平成30年以降なんですけれども、金額もさることながら、中央公民館、一応あそこ営業中ですよ。今年についてもかなりの期間を工事で営業できない形になっておりますけれども、これの計画をしっかり立てていただきたいことを要望しておきます。お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 要望でよろしいですか。

ほかにございせんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 関連ですけれども、これ前回も言ったんですけれども、たくさんの金額が出ていますよね。それこそ総合体育館より負けるんじゃないかぐらい、こっちのほうが金額が物すごく大きくなっていますよね。そこら辺がどこで決まったんですかね、13億円は、それはわからないんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 一般質問のときも少しご説明させていただいたんですけれども、建物、公共施設というのは、新築した場合、それから五、六十年ぐらいまでの間に新築と同じぐらいの経費をかけた改修をしないと適切に保全できないというようなことがございます。今回の場合は、これが大体耐用年数60年と見たところのワンクールの分の最終的にはこれだけかかると、合計で13億円かかるということで今出しておるわけでございます。実際問題、特に空調とかは大体15年ぐらいで更新していかなくちゃいけないと、それから配管材とかにつきましてもまた15年から20年の間にはもう更新していかなくちゃいけない、そういうふうな電気設備もそういう形ですよ。外壁も当然早目に外壁をチェックして、浮きとかを確認して、それで補修していかなくちゃいけない。屋根とかもそうですね。だから、それだけかかるということが、これが実態でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 実態というのは、13億円はどこでかかるんですか、13億円は。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） この施設が昭和61年9月築で現在築29年目でございます。それから60年ですね。現時点では、これは60年で耐用年数が来るというようなことを

前提に、60年間で13億円かかるというようなことをございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） いや、築29年はわかりますよ。ただ、中身の問題、あと平成30年度からいつまで続くんですか、これ。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 昭和61年築でございますので、2046年までで13億円を使うという形になるかと思えます。

ただ、これも総合管理計画もございますので、これをできるだけ長寿命化して、この13億円もできるだけ先までかけて使うというような、そういう方向で今後検討していかなくちゃいけないというふうに考えているところでございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） しつこく言っていることじゃないんですが、基本的にあと建築工事と電気設備工事、給排水工事が予定になつとんでしょ。そういった部分で、あとはじゃあ使いながらできるわけですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 当然のことながら、例えばトイレ工事したり、内装を改修するときには閉鎖期間というのは出てくるかと思えます。

ただ、そこら辺の規模とか、どれぐらいの期間かというのはまだ検討していない、これからそれに向けて検討していく必要があるというふうに考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 平成29年度で6月までにできないんですかね、9月までだったですかね、でき上がるのは、今でき上がるのは。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 7月末までですね。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 7月末。市民の方はもう7月末で恐らくこれはできるんだと、ずっと、使えるんだと思っていると思うんですよね。そういう部分でまた平成30年以降、ちょこちょこできない、休憩とかなんとかといてすることになったら、市民はなんかいなくなって言われませんか。そういった部分が、もう少し計算をうまくしてもらって、できるだけそういう休憩がないようにするような形の事業にしていきたいと思うんですが、その辺はどうなんふうに。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 確かに市民の皆様にご不便をおかけいたしますの

で、空調を急遽議会にお願い申し上げたというのは実はそこもあるわけでございます。同じように閉めると、また同じようにご迷惑をかけるということでございます。

ただ、やはり公共施設は主要な施設だけでも38施設あるわけでございまして、現状としてはそれが老朽化して、それぞれにやっぱりお金を投下しなくちゃいけないというような現実もあるわけでございます。ここで、例えば中央公民館、市民図書館だけ一気にお金をかけるというようなことは、基本的になかなか財政上、厳しい面もありますし、特に期間がもっと延びてしまうということもございます。全部一緒にできませんから、解体工事とかも非常に期間がかかってきますので、できるだけ、今後、市民の皆様にご不便をかけないように、そこら辺の期間をある一定集中できるものは集中するというような、委員おっしゃる観点も頭に入れて、今後検討していきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（上 疆委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） この改修工事に当たって、例えば空調工事するにしても、壁が厚かったりいろいろな形で穴あけたりとかの工事がかかり出てくると思うんですけれども、耐震構造的には問題はないわけですかね。

○委員長（門田直樹委員） 総務部理事兼公共施設整備課長。

○総務部理事兼公共施設整備課長（原口信行） 当該施設は昭和61年築でございますので、昭和56年6月以降の新耐震に準拠する建物でございますので、耐震上は問題ございません。

○委員長（門田直樹委員） 進んでいいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、200ページ、6目文化財整備費、ページが205ページまでです、6目について質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 203ページ、282の水城跡整備事業費なんですけれども、平成28年度の予算1億2,000万円があって、今回が1,600万円ということで、少し整備が一段落するというふうにいるんですけれども、ということで理解してよろしいのかということと。

あと一つ、15節の工事請負費、保存修理工事600万円というのがあるんですけれども、この内容についてお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（城戸康利） お答えします。

さきのお尋ねはそのとおりでございまして、平成29年度については整備そのものの工事は行いません。

15節の工事請負費につきましては、書いておりますように保存修理ということで、土手の上

に生えております樹木の整備をさせていただき予定にしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい、いいです。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、204ページ、7目文化財活用費、207ページまでですが、7目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、206ページ、8目文化財調査費、209ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、210ページ、5項保健体育費、1目保健体育総務費、そして213ページまでの2目施設管理運営費までで質疑はございませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 212ページ、19の市体育協会補助金ですけれども、去年よりも減額されていると思うんですけれども、その理由を聞かせてください。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 体育協会は今現在、北谷運動公園あたりの指定管理の業務を請け負っています。体育協会の決算書を見た範囲の中では、昨年より約1割落としても運営ができるという判断で、体育協会とも協議をして、了承をもらって、1割落としております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 体育協会のほうがそうお答えされたみたいですが、体育協会の会員の方々は非常に不満を持っておられて、例えば市民大会で、去年までやったら、人数が多ければ5万円とか7万円とかの助成金があったんですけれども、体育協会自体がもう予算的にこのままじゃもたないということで、今年度から市民大会5万円だったのが、1万円とか、非常に減額されて、非常に厳しい状態がこの前市民の方がおっしゃっていました。会員になるのに年間300円払って、いろいろな部分で努力はされているみたいなんですけれども、かなり苦しい状態が続いていて、施政方針でもスポーツ課と体育協会と一緒に連携してやっていると、結局太宰府市民の方のスポーツ振興に役立つというのが目的だと思うので、よその自治体の体育協会を見ると指定管理がもうちょっと多いような気がしますんで、ぜひ検討していただけるよう要望したいと思います。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（徳永洋介委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 211ページ、130の学校体育施設開放関係費の18の備品購入費、施設一般備品で20万円上がっているんですけども、去年も20万円で、毎年幾らかずつ買いかえとか買い足しとかをされているのでしょうかというのが1点と。

今回この20万円は何を購入されるのかというのをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 学校にあります、例えばバレーボールの支柱でありましたりとか、いろいろな分について、本来でしたら学校教育のほうで準備をすべきなんですけど、主に社会体育のほうで使っているということで、うちのほうが予算化しております。

具体的に何を来年度買いかえるのかというのは、使っている頻度によっていろいろ変わってきますので、バレーボールであったり、バドミントンの支柱であったり、いろいろなものについての備品購入ということで考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 私も時々使うことがあるんですけども、結構古かったりとか、壊れていたりとかということもあるんですけど、そういうのは点検はどなたがされているのかというのと、そういう買いかえしてほしいとかという要望は社会体育で使われている方からのものが上がってくるというふうに、それで確認されているということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 学校の教頭先生とか、あと実際に使われている社会体育の団体とかからうちのほうにそういう要望が上がってきますので、それをお聞きして、実際現場を確認して、必要なものについてはうちのほうで購入するというように考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） なかなか目が届いていないように思うんですね。さっき財団のほうのスポーツコーディネーターさんのお話がありましたけれども、市民の方が小・中学校の体育館で運動するというのも一つの市民スポーツだと思うので、そういう方とかも使ってされるか、全体を一度点検するというか、利用者の方たちが気持ちよく使えるような施設、備品の設置とかも含めてお願いしたいと思います。要望です。

○委員長（門田直樹委員） 要望ですね。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 1点、同じところですけども、08報償費と13節の委託料、同じ管理

員謝礼と委託料、謝礼のほうは個人で近くに住んである方とかがあけ閉めされていることが多いけれども、こっちの委託料の276万円の委託先はどちらですか。

スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 現在、筑紫ビル管理のほうに委託をお願いしておりまして、東中学校と水城西小学校の管理人のほうに委託しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。

進んでよろしいですか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 213ページです。130スポーツ施設の関係の15節工事請負費の施設改修工事の内容を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 一番大きなものでは、市民プールの屋外プールの塗装の工事をやります。あとは、体育センターの雨漏り、それと歴史スポーツ公園の弓道場の雨漏り、あとは北谷運動公園のテニスコートの人工芝部分の張りかえを2面行います、が重立った工事になっていきます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） スポーツ施設管理運営費の委託料ですけれども、これ梅林アスレチック公園が入ってないけれども、これは市がしよるんけんですかね。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 委託料の一番上の施設管理委託料というのがございます。その中に梅林、松川、その他少年スポーツ公園等の委託料、ほかに樹木の伐採とかいろいろなものを含めての委託料ということで、こちらのほうに計上させてもらっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 梅林公園のことについて教えてください。

あれ今人工芝になって、完全予約制で、平日に遊びに行っても人工芝の中に入るなみたいな感じなんですけれども、あれ予約した団体しか使えないんですか。もう個人で例えば走り回ったりということはできないんですかね。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 原則予約していただいて使うということで、特に小学校の遠足とかでも使いたいということで、そういった分については開放しております。

ただ、親子とかで来られて、急に入らせてくれといっても、実際後で使われる団体とかもご

ございますので、それについては事前に予約してくださいということをお願いしているような状況でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） まさに課長が今言われたように、遠足に行ったら、結局中使って遊べなかったんですよ、実際。ですから、あれいつの間にそんなきちっとした予約制になったのかなと思ったけんですね。遠足で行っても遊べないことはないんですか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 事前に学校さんのほうから連絡が来ますので、要は広場は使いますか、使わないですかという確認した段階で、いや、使いませんということであれば中に入らないようにということで指導しています。もし使うということであれば、事前に予約してくださいということをお願いしております。

以上です。

○委員（長谷川公成委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（長谷川公成委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ここで15時30分まで休憩します。

休憩 午後3時20分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後3時30分

○委員長（門田直樹委員） 再開します。

11款災害復旧費に入ります。1項文教施設災害復旧費について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 213ページの13節委託料、史跡水辺公園総合体育館施設指定管理料についてなんですけれども、これ水辺公園と総合体育館を合わせた指定管理料1億2,130万円なんですけれども、総合体育館のほう指定管理料が8,500万円から7,200万円に少し圧縮できたということで、それを反映した総合額になっておるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 史跡水辺公園につきましては4,930万円で、体育館につきましては7,200万円ということで計上しております。

この間、一般質問の中でも言いましたように、企業のほうも努力されて、圧縮が可能になっておりますので、体育館のほう当初8,500万円から7,200万円ということで計算しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） それでは、11款1項について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) ページをめくって、214ページ、2項農林水産業施設災害復旧費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3項公共土木施設災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4項、その他公共施設・公用施設災害復旧費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、12款公債費、1項公債費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 14款予備費、1項予備費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳出の審査を終わります。

次に、18ページをお開きください。

歳入に入ります。よろしいですか。

1款市税、1項市民税について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2項固定資産税について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3項、4項、5項、とりあえず5項までについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、6項、7項について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款地方譲与税、1項地方揮発油譲与税、2項自動車重量譲与税について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3款利子割交付金、1項利子割交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、22ページ、4款配当割交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款株式等譲渡所得割交付金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款地方消費税交付金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款ゴルフ場利用税交付金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 8款自動車取得税交付金について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 9款地方特例交付金について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 25ページまでですね、よろしいですね。

10款地方交付税について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、11款交通安全対策特別交付金について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、12款分担金及び負担金、27ページまでですが、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 13款使用料及び手数料、31ページまでですが、12款について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、13款使用料及び手数料、33ページまでですが、13款について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、32ページ、14款国庫支出金、35ページまでですが、質疑はありますか。14款、第1項まで、いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、14款の2項国庫補助金、37ページまでについて質疑はありますか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 1目総務費、国庫補助金の2つ目、地方創生推進交付金というのがあるんですけども、これは事業としては何に当たるのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） この交付金につきましては、立地適正化計画策定に係る国庫補助金でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 国庫補助金の中に入っていないんですけれども、まち・ひと・しごと創生事業というのは今年度は受けないのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） まち・ひと・しごと創生事業という名目では入っておりませんが、この地方創生推進交付金につきましては、その事業の一環として認められているものでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） そのまち・ひと・しごと創生事業の中の一つというふうに理解をして、そのほかにはあるんですか、このメニューの中には。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） いえ、今のところはございません、こちらにつきましては。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、38ページの3項委託金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、15款県支出金、39ページまでですが、1項県支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。40ページ、15款県支出金の2項県補助金、43ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、15款県支出金、3項委託金、42ページから45ページまでですが、質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 2項県補助金の6目教育費県補助金の社会教育費補助金の2つ目、子どもの読書活動充実事業補助金、県が2分の1というので1万1,000円というのがあるんですけども、これはどこに当てはまっているのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） これ市民図書館の事業で、県からの補助金を予定しております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） どの部分に当たるのかというのが、ごめんなさい、1万1,000円のどの部分を補助しているのかという。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） ページが次にまたがっておりまして、事業としては次の11節の中に入ります。

○委員（神武 綾委員） 何ページですか。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） 199ページですね。

○委員（神武 綾委員） 199ページの19。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） これの11節需用費の印刷製本費の中に入っています。

○委員（神武 綾委員） この10万円の中に入っているということですか。

○文化学習課長併中央公民館担当課長併市民図書館担当課長（木村幸代志） はい。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい、いいです。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 41ページいいですか。

○委員長（門田直樹委員） どうぞ。

○委員（徳永洋介委員） 41ページの県の補助金の性犯罪防止防犯カメラ、これは毎年というか、半額は今年度のみなのか、今後も続くのか、教えていただけたらと思います。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（齋藤実貴男） 済みません、今手元にこの交付金の資料がありませんけれども、県の補助規定の中で基づいて交付されるものです。済みません、何年かというのを調べて、後ほど返答させていただきます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次、44ページ、16款財産収入、1項財産運用収入、47ページまでですが、1項について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同じく2項財産売払収入について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、17款寄附金について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、18款繰入金、49ページまでですが、18款について質疑はありますか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 49ページ、1目6節の環境基金繰入金というのがあるんですけども、環境基金というのは前からあったのでしょうか。済みません、説明をお願いします。

○委員長(門田直樹委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(山浦剛志) こちらにつきましては、以前からあるものでございまして、主に環境関係の事業に充当させていただいております。

○委員長(門田直樹委員) 神武委員。

○委員(神武 綾委員) ついでに済みません、その基金は今どのくらいあるのか、わかりますか。残高。

○委員長(門田直樹委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(山浦剛志) 平成27年度末の現在高でございます、2,458万6,114円でございます。

以上でございます。

○委員(神武 綾委員) はい、ありがとうございました。

○委員長(門田直樹委員) いいですか。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、19款繰越金について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 20款諸収入についての1項、2項、3項、4項、51ページまでについて、20款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、21款市債、53ページまで、21款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳入の審査を終わります。

次に、9ページをお開きください。

第2表債務負担行為について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは次に、10ページの第3表地方債について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは次に、218ページをお開きください。

218ページ及び219ページの給与費明細書について質疑はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 審査資料の14ページにも出していただいておりますけれども時間外手当の関係の動向についてお伺いいたしますけれども、給与明細のほうでは約8,300万円というような数字が本年度はこちらに載っておりますけれども、平成27年度は8,900万円というのは以前議会でやりとりさせていただいたときに地方選挙があった関係の残業も増えていたというような説明も受けておまして、それで平成28年度がまだ決算が出ていないので比較が難しいかなと思うんですけれども、平成28年度のその見通しと、この時間外手当が比較できる平成27年度と比較して減少している傾向というのは、これは機構改革後の業務等も見通した上でこういう数字が上がってきているのか、その2点お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長併選挙管理委員会書記長。

○総務課長併選挙管理委員会書記長（田中 縁） 平成27年度、平成28年度、平成29年度の予算とということでの比較ということになると思います。

まず、平成27年度は、おっしゃいましたように統一地方選挙、それから最近、災害警戒の関係で職員が夏場、特に雨の降る時期に待機することが多くなりました。その関係が平成28年度も、平成28年度は年度初めに熊本地震で待機とかもありましたし、雨の時期には確かに夜中、朝までずっと待機するようなこともありましたので、そのあたりの時間外というのがどうしても入ってくることはあります。

それで、平成29年度につきましては、平成29年度のこの数字がある程度のベースというか、そういうふうになってくるのではないかとというふうに考えております。

ただ、今後、また夏場の雨のぐあい等によりまして多少増えてくるとかということはあるかもしれません。

以上です。

○副委員長（藤井雅之委員） 結構です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、220ページから236ページまでの各調書について質疑はありませんか。
済みません、私1つ資料要求しとったんですが、このタブレットですね、224ページの方ですけれども、これ学校教育課ということで、これは東小学校のタブレットのことでしょうか。
学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） おっしゃるとおり、東小学校のタブレットの方でございます。

○委員長（門田直樹委員） 済みません、以前説明を受けた記憶があるんですけども、台数をわかるなら答え。
学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 児童用が40台と教師用の分が1台、合計41台のタブレットを使っております。
以上です。

○委員長（門田直樹委員） ちょっとしつこいんですけども、プラットフォームというかシステム、iPadの類いなのか、あるいはアンドロイドとか、その他とか、あるいはまた違うオリジナルのプラットフォームなのかとか、わかる。
学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 学校で使っておりますのはiPadの型だだと思います。

○委員長（門田直樹委員） iPadですね。わかりました。ありがとうございます。
ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。
村山委員。

○委員（村山弘行委員） 従前、ずっと気づかなかったみたいですけども、国が各県のランクをずっと査定して、福岡県は5段階中Dランクだったのを見直されて、今回の平成29年度からだろうと思うけれども、厚生労働省所管と文科省所管の国から県に対する交付金が少し増えてきたということで、影響とか、事前連絡とか、そういうのは何かあっていませんか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 今回A B C Dのランクがなくなって、全部同じということになるのが平成29年度からということで、保育所の整備交付金のほうがランクがなくなったので金額が上がります。今現在、交付申請をしている水城保育園の60名定員の新園の分が新年度の分で計上されますので、現在繰り越しをしている金額よりも恐らく高い金額になるかと思っておりますので、この分については6月なりに補正が必要になるかと考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほか質疑はございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 市税等の収入の件で、ちょうど1年前ぐらいに換価の猶予の申請制度が始まっていると思うんですけども、これについて適用されているのか、現状をちょっと教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 納税課長。

○納税課長（千倉憲司） 昨年の3月議会で条例を通していただきまして、そういったところを整備させていただいたところがございますが、実際お困りの方、払いたいけれども払えないというようなところがある場合にその制度を適用するわけでございますが、今のところ、適用事例はございません。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 分納というような形でされてらっしゃるところがないという意味合いになるんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 納税課長。

○納税課長（千倉憲司） いえ、分納はございます。

○委員（小島真由美委員） 分納はある。

○納税課長（千倉憲司） はい。

○委員（小島真由美委員） わかりました、いいです。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 地方交付税の関係ですけれども、トップランナー方式で委託とか、あと指定管理について算定の基準に影響するというふうに聞いたんですけれども、太宰府市の場合はそれに当たる業種というのはあるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） トップランナー方式につきましては、太宰府市についてはかなり進んでいるといえますか、いわゆるアウトソーシングできる部分は極力アウトソーシングをしていくというのがそのトップランナー方式の目玉になっておりまして、そこが交付税算定の、今までは直営ベースでやっていたのが、今度はそこが基準になりますので、直営ベースでされてあったところについては多分減額、今までもらっていたよりも減るんじゃないかなというふうな意味合いがあって、そのまま直営でされると、今度その分の財源をどっかほかから削らないとできなくなるという可能性もこれまで以上に出てくるんじゃないかと。幸いうちの場合は、そういうところ、全部が全部ではございませんけれども、かなり民間委託のほうを進めておりますので、余り影響はないのではないかと考えております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 平成29年度太宰府市一般会計予算に関しまして、反対の立場で討論させていただきます。

平成29年度太宰府市一般会計予算は、3月議会初日に芦刈市長が述べられた施政方針を具体化する内容、また平成28年度におきまして、発展した福祉の分野など継続されている分野もあり、全部を否定する立場ではありません。

しかし、3年に1度の見直しで減額はされましたが、人権政策費におきまして運動団体補助金が継続をされ、また扶助費の支給も継続をされている点は、見直し、廃止を求めてきた立場として容認することはできません。

また、マイナンバーカードの普及に関しても福岡県の当初の普及見込みが3分の1にとどまっている状況においても、同制度が引き続き継続される関連予算も含まれていることも賛成することはできません。

会派といたしまして、同会派の神武市会議員とともに反対することを申し上げて、反対討論といたします。

○委員長（門田直樹委員） 賛成討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第32号「平成29年度太宰府市一般会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（多数挙手）

○委員長（門田直樹委員） 多数挙手です。

よって、議案第32号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成15名、反対2名 午後3時54分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

それでは、本日は一般会計までとし、3日目の予算特別委員会は明日、14日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれもちまして散会いたします。

散会 午後3時54分

~~~~~ ○ ~~~~~